京城日報

一日夕刊

定價 一部金二錢 一ヶ月金五十五錢
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城大和町一丁目 合名會社 京城日報社

露國の形勢

▲政體決定發表期 露曆三月廿六日(四月八日)露都に於て共和政體或は君主立憲政體孰れかに決定發表す可しと(哈爾賓特電)

▲一部將士の講和渴望 哈爾賓の一露商館に入れる露都電報に依れば戰線に在る露軍の一部將士は講和を渴望し新政府に電請督促しつゝありと(哈爾賓特電)

▲ロヂヤンコ氏の孤立 代議士會に於てロヂヤンコ氏は曰く余は今臨時政府と執行委員會との間にありて孤立の狀態にあり(露都電報)

▲波蘭と政府の宣言 露都來電=政府は宣言して曰く波蘭人は普魯西選擧制に依り選ばる可き憲法議會に於て其新政體を自ら決定す可しと(紐育電報)

▲露國新政府は波蘭政府の樣式は波蘭人を以て決定せしむ可しと聲明せり(倫敦電報)

○西班牙國內不穩事情

露國革命より來る重大影響

西班牙不穩の事情に就き確實なる筋に到着せる電報に依れば西班牙政府は今般食糧品價格暴騰の事實に鑑み之が調節に着手せるが其方法に不滿を感ぜる全國地方勞働者組合の代表者は首都マドリッドに集合し近く一般的同盟罷業を企て以て之に對抗せんと決議せしかばロマノネス內閣は此の代表者を告發し次で二十九日憲法中民權に關する保障を停止せりとの事にして事態甚だ容易ならざるものあるが如し勞働者團體が斯くの如く反政府的行動に出でし裏面の事情及び政府が斯くの如き高壓手段を執るに到りたる眞の理由に就ては未だ詳報無きを以て明かならざるも露國革命が血性の羅甸民族たる同國民に重大なる影響を與へたるものあるは疑ふ可からざる所にして其成行は頗る注目に值す(東京特電)

○米國大統領の決心

米國大統領ウヰルソン氏は既に決心の臍を固め米獨今や戰爭狀態に在るを承認せり(桑港電報)

○獨逸對米戰意無し

伯林來電=獨逸宰相ベートマンホルウエッヒ氏は帝國議會に於て大要次の如き演說を爲せり曰く獨逸は毫も米國を攻擊せんとの意志を懷ける事無し現在と雖もかゝる意志を有せず即ち米國と戰爭する意思は毫も無し過去百餘年に亙りて親交を繼續し來りし米國が自己の存在の爲めに獨逸が行ふ潛航艇戰を以て開戰の理由と爲すならば獨逸は米國開戰の責任を負ふ事能はずと(紐育電報)

○對獨決意は米議會後

支那政府は四月二日に於ける米國議會の態度を見たる上對獨宣戰に關する決意を爲す可し(北京電報)

○外交總長案と國會

支那政府は陸徵祥氏の外交總長提案は到底國會が受理せざる爲め新たに梁啓超氏を之に擬し居り梁も亦希望し居る樣なれども國會を通過するや否やは問題なり(北京特電)

○ヒンツエ曰く

前駐支獨逸公使ヒンツエ氏は長崎に於て語つて曰く若し日獨兩國握手なるとせば世界の平和に貢獻して地圖に幾色を來すなしと(長崎電報)

○交通部赴日團

安東縣通過南下

王交通次長の一行二十名は平井中山兩交通顧問金井鐵道院參事及び奉天副參事等と共に一日午前六時四十分安東縣官民多數の出迎を受け貴賓室に入り少憩後同七時廿分發京城へ向へり滿鐵よりは西村營業課長谷保線課長鎌田奉天工廠長代理を安東驛迄見送らしめ別に牛島細谷兩社員を接伴委員として隨伴せしめたるが一行は當地官民の送迎に對し深き感謝の意を表せり(安東縣特電)

○代表者派遣

哈爾賓商務會は二十九日露國道尹の革命成功を祝する爲め行政執行部に代表者を派遣し祝賀の意を表したり(哈爾賓特電)

○小原長官通過

小原農商工部長官は一日立神丸にて清津通過元山へ向へり(清津特電)

○清津開港祝賀會

清津開港九週年祝賀會は一日午後一時より府廳構內にて開催種々餘興あり盛況を極む(清津特電)

◎露廢帝亡命說

露國廢帝ニコラス二世は英國に亡命し度しとの御意思ありと聞くより哈爾賓露人は之れを信じつゝあり因に帝及び皇后皇太子は其離宮に御幽閉遊ばされたるは事實なりと(哈爾賓)

◎馮氏宣戰反對

對獨斷交後の支那政府の外交方針は柔弱困頓を極めつゝありて該斷交の主唱者なる梁啓超氏は大に之れを憤慨し近頃斷交後の緊急問題として支獨宣戰の大意見書を國際政務評議會に提出して宣戰並に對墺問題を痛論したるが之れに對し段總理及び國務政務評議會の多數意見は梁氏の宣戰主張に確實の理由なしとして贊成せざる者の如くなるが馮副總統も同意見なるにて二十七日秘書長林長民氏を北京に派して對獨宣戰が防禦力薄弱なる支那に危險なるのみならず內政上尤も憂慮す可き旨を痛說せしめたり(北京)

◎撤兵後の大馴討

張督軍は鄭家屯に於ける我撤兵を要求し都督府に於ても已に之れが準備を了せり猶張督軍は鄭家屯より懷德縣に到る方面には匪賊の潛伏多きを以て日本兵撤退と與に大馴討を試むる筈なり(奉天)

◎外蒙劃界延期

外蒙自治區域劃界は本年五月より露支蒙三國委員立會の上實行する筈にて支那政府は昨年來特別機關を設けて之れが準備に着手中なりしが目下支那には對外的大問題發生し且つ露國も革命後の騷擾中にもあれば支那政府は之れを顧慮するの餘裕もなく且つ露國も相方利便の爲め該實行方を延期するの意あるやにて近く正式に露國及び外蒙自治政府に照會する由(奉天)

◎天寶山輕鐵

間島天寶山より豆滿江北岸に到る鑛山專用輕便鐵道は已に延吉道尹の許可を得過般來大興公司の瀨名寬裕氏は同地に赴き支那官憲其他所有者等に接觸して之れが進行を圖りつゝあり(間島)

◎東淸沿線滯貨

東淸鐵道沿線の滯貨は依然貨車不足にて各荷主は心細げに戰線より歸る貨車を唯一の賴みとし鶴首待ち居り雜穀商は穀物の腐敗を恐れ中には半永久的の防腐設備を施す者もあり亦々出荷を見るべき木材類は官用品の外絕體に影も見せざる狀態にあり(長春)

◎總督巡視と總督

南鮮巡視の長谷川總督一行は三千浦迄出迎の佐々木道長官及び前田警務部長等と自動車三臺に分乘し卅九日午前九時三十分官民多數出迎の裡に道長官々舍に入り少憩の上佐々木道長官の案內にて警務部公立小學校地方法院支廳郡廳等を巡視したるが三十日自動車にて馬山に向ひ出發せり(晉州)

◎馬鎭に於ける總督

長谷川總督は三十日午前八時三十分晉州發自動車にて同十一時三十分馬山に到著す一行は宇佐美內務部長官、釜屋武官其他隨員の外に晉州より佐々木道長官、前田警務部長隨從せり一行は來馬直ちに鎭海に向ふ豫定を變更して馬山にて晝餐を爲し午後二時鎭海に向ふことゝなりしが一先づ數多の出迎人に挨拶せられて望月旅館に入れり之れより先き鎭海要港部よりは總督乘用として村雨、朝霧の二驅逐艦を差廻はされて馬山灣頭に海域を築けり

▲鎭海巡視 總督は著舘後入浴晝餐の後隨行者一同及び三增府尹等と共に鎭海より出迎はれたる佐野參謀長の先導にて村雨に搭乘鎭海に向ひたるが二時四十分要港部軍用棧橋に著するや出迎へる東鄕司令官金坂第三艦隊參謀、古川要塞司令官を初め各官民學校生徒三百餘名に一々會釋を致し上陸後十五分要港高等小學校に臨み授業振を一覽し德久校長の報告を承け後大坪管理者、松尾町總代等を引見し同校前庭に記念植樹を試み終つて軍人分會長、松田在鄕軍人分會長等を引見し要塞司令部に赴き少憩の後市中を一巡して四時四十分官民多數の見送りを受けて再び村雨に搭乘馬山に引返へせり

▲接見と巡視 馬山にては棧橋一帶の沿道に一個小隊の儀仗兵堵列し且出迎の官民千餘名總督は上陸直ちに自動車にて一行と共に望月旅館に投ぜり旅館前には重砲兵大隊より護衛兵を出して警戒し大隊將校の伺候式ありて當日を經過したるが翌三十一日は午前十時より府廳樓上に馬山府官民の接見式あり各官公署長府參事府協議員學校組合議員各學校長會頭銀行長を一々引見し終つて三增府尹より事務の報告あり後廳內を巡視して事務振を檢閱し十時廿分重砲兵大隊に赴きたるが同隊にては西郷大隊長以下將校を引見し隊內を巡視して將校集會所に少憩の後公立尋常高等小學校に向ひたるが同校にては生徒の授業振を巡視して後記念の植樹を爲し兵式體操を一覽して

▲馬山出發 十一時三十分馬山停車場に向れたるが停車場前には官民及學校生徒數千人堵列して之を見送り臨時列車に搭乘後もプラットホームに見送り人雲集せるを總督は車外に於て擧手の禮を爲し同五十分無事大邱に向け出發したり

▲金員の寄贈 總督は馬山公私立學校生徒一同へ金三百七十圓、高齡者へ百二十五圓を寄贈したり總督來馬後の二日間は市中及び沿道一般國旗を揭揚して敬意を表せり(馬山)

◎山形大佐退職

警務總監部高等警察課長憲兵大佐山形閑氏は三月三十一日を以て豫備滿期となりたるより退職し後任者に事務引繼の上四月十二日頃當地を引上げ東京に赴くべし

▲辭令

警務總監部高等警察課長兼朝鮮總督府警務官 憲兵大佐 山形閑
免本職
(三月三十一日附)

◎來賓一行入京

日支聯絡會議記念祝賀會支那側出席者一行並に滿鐵、鐵道院案內者等は既記の如く一日午後七時三十分南大門驛著入京朝鮮ホテルに投宿す

◎鑛業會進捗

發會式は五月

朝鮮鑛業會は大正四年の始政記念共進會中開催せられたる鑛業懇話會發起人の提唱に係り爾來懸案となつて本年に至りしものなるが既に我朝鮮の鑛業界は年產額將に三千萬圓に達せんとする盛況を迎へ尙且つ日一日隆運に赴くべき趨勢を來し從て鑛業者間の聯絡及び親睦を圖るの必要並に鑛業の前途に橫はれる諸種重要問題を解決すべき機關の現實を切感する時機に迫りたるを以て先づ內地鑛業家の贊同を求めんが爲め第一流鑛業家に發起人側より西崎鶴太郎、小林藤右衛門、松井民治郎の諸氏東上し鑛業の元老和田維四郎氏を中心として商議する所あり其の結果大要左の事項を基點として其の設立を進行する事となりたり

一、第一期基本金額七萬圓の寄附金を募集し財團法人の組織と爲し事務所を京城に置き其の預金利子を以て經常費に充つる事
一、朝鮮鑛業界に貢獻せる名望學識あるもの及び一時寄付金五百圓以上を寄付したる有力なる鑛業家を正會員とする事
一、本會を鑛業部學術部の二部に分つ事
一、正會員は二名以上の紹介を以て申込み評議員會の決議を經る事
一、本會に准會員を加入せしめ會費は年額三圓とし本會の會議に列し意見を陳述することを得る事
一、朝鮮鑛業に關する重要調査の依賴に應じ及び每月定期雜誌を刊行する事

等にして頭目內地大鑛業家に於ても全部設立に對して多大の贊意を表し同時に其寄附金額已に五萬圓に達し朝鮮有力者の寄附承諾額を併算すれば正に六萬圓を越ねんとする盛況を見るに至れるを以て三月三十一日京城ホテルに第一回創立相談會を開催せし結果西崎鶴太郎、荒井初太郎、小林藤右衛門、小瀧元司、津田鍛雄、中川湊、蛇目萬二郎、村田素一郎の諸氏を創立委員に推擧すると同時に其の創立事務主幹を松井民治郎氏に囑託し直に專任書記等も定まりたれば當分創立事務所を南山町久原出張所內に假設し五月末迄に發會式を擧行すべき準備中に在り尙又同會は事務所を新築する迄某家借入方の交涉中なりと

◎松井警視移轉

警官練習所長松井警視は四月一日より元永谷警視の居住せし倭城臺町の官舍に引越したり

〔春川〕

▲免囚保護會の現狀 春川免囚保護會は明治四十五年三月春川支廳及び春川分監職員とにより創設せられ從來之等會員の會費を以て維持し來りし爲め經費其他の關係上創設後の年數に比すれば稍や不備の點なしとせざるも會長の熱心と會員の努力とにより昨年十月以來著々實行せられたり今春川地方收容の免囚に付き調査する處に依れば其の成績極めて良好にして逐年使用者の申込增加する景況なり過般司法部長官は巡視記念として多額の金子を維持費に寄附したるより更に發展を期し會員募集に努め且つ其の筋の補助により來年度より一定の收容家屋を設け擴張を圖る筈也

〔群山〕

▲府豫算終了 群山府豫算協議會は既報せる如く群山學校組合大正六年度歲入出豫算會議終了と前後し協議會續行中なりしが二十八日を以て全く議了したるを以て同三日中には認可を受くるの運びに至るべしと

▲等級查定 群山學校組合及び群山府大正六年度歲入出豫算は別項の如く附議決定したるを以て之に伴ふ大正六年度賦課稅率其他を決定すべく學校組合は要員附記となりしを以て三十日より等級查定會を開き群山府賦課等級查定會は四月二日より開始し共に兩三日を以て查定せらるべしと

▲米商役員會 群山米穀商組合にては二十九日午後三時より役員會を開催し大平、大岡、落合、富岡、横山、澤田、中柴、廣津、松本氏等出席一、商業會議所寄贈金に關する件二、鮮米改良に關する全鮮同業者及び內地同業者との協商の件三、借入金償却に關する件等に付協議を重ね議決の結果來月早々組合員總會を開催し附議決定すべしと

〔光州〕

▲小學校入學式 光州公立小學校にては四月一日を以て入學式を擧行すべく新入學生は七十五名に及び尙ほ未屆のもの數名ある見込みなりと

▲農學校卒業式 光州公立農學校にては二十八日午後一時より第五回卒業式擧行道長官代理として今村事務官臨席し告辭を代讀したり卒業生は廿二名にして修學生は二十七名卒業生は十一郡に跨り何れも相當の資產家なるより直ちに農に從事するもの八名上級學校へ入學希望者二名官廳奉職希望者二名にして現卒業生は總計百八十八名なりと

▲棉花種子配付 本年本道の陸地棉作付豫定は四萬町步なるも昨年の減收に依り種子に不足を來すを以て多少減少すべく又本年より八箇年計畫を以て行はるる種子更新は第一著として光州郡務安郡南の四郡中二千三百餘町步に行はるべく種子の配付は四月上旬より又播種は同中旬を以て行はる豫定なり

〔木浦〕

▲棉作記念期日 四月三日擧行の筈なりし棉作十週年記念式を諸般準備完了せざるを以て四月末か五月初旬に擧行する事に決定せり

▲三月中移出牛 當港より三月中移出せし生牛は九百五十二頭價格二萬二千八百九十一圓なりと

▲千賀檢事榮轉 當法院支廳次席檢事千賀顯氏は今回群山支廳檢事に榮轉せり

〔釜山〕

▲學校組合會 釜山學校組合にては三十日午後三時より釜山各公立學校長及び府立病院醫員と會同し學校衞生に關する打合會を開きたり

▲高女入學試驗 釜山公立高等女學校は三十一日午前十時より入學試驗を施行する由なるが入學志願者は百十二名にて採用數は百名なるを以て大約入學し得べしと

▲小學校新規入學 來る四月二日迄に學齡に達し釜山各小學校に新規入學すべき生徒數は第一尋常小學校男七十五名女六十名第二同上男九十八名女八十九名第三同上男七十五名女七十五名第四同上男五十二名女四十七名なり

▲公立幼稚園開園 釜山公立幼稚園は愈よ舊民團建物に移轉し四月二日より開園の筈なるが園兒は三月末終了五名と新規入園兒二十名なりと

〔淸津〕

▲間島牛疫猖獗 北間島對岸間島には本年に入りてより既に六十餘頭の牛疫發生猖獗を極め居れりと言ふに拘らず一衣帶水の鮮地には今日迄幸に之が發生を見ざりしも本月十六日に至り鍾城郡鍾城面に牛疫發生二十日迄に六頭發生せるが病系統は勿論對岸よりなり目下當局は極力防疫中なり

▲本月中鰊買出漁船 本月中旬來淸津港を出帆せし露領鰊買出漁船は既に百三四十隻に達し尙ほ碇泊中のもの六七十隻あり而して本月二十二日鰊二萬千餘尾を積載せる朝鮮船一隻は雄基に入港せるが之れ本年露領鰊輸入の嚆矢にして價格は二百圓を唱へ一尾一錢に相當せり淸津へは本月末若くは來月上旬より追々輸入を見ん何れ諸國に於て本年鰊輸出は今日の所禁止の模樣なるも沿岸漁業地よりの積出は差支へなきものゝ如し

▲淸津近海の明太魚 淸津近海の明太漁は昨年盛期に入り日々數萬尾を水揚げ其大部分は乾製となしつゝあり而して本年淸津地方より國境西水羅方面に掛けての明太乾製品は全部丸山大成商會二所にて取引契約成り去る二十日運搬船千代丸は淸津に回航し第一回として三百十駄を搬出せるが相場は一駄十八圓八十五錢也

人事消息

▲鎌田敬吉氏(實業家) 一日朝發內地へ四月下旬歸任の筈
▲山本育英氏(東京電氣會社專務取締役) 一日朝入京南大門
▲長川得太郎氏(新義州府尹) 一日朝入京朝鮮ホテルへ
▲大戶正義氏(成興炭鑛會社員) 一日朝發京釜線
▲米國領事(京城駐在) 一日午前安東へ
▲士官候補生一行 一日午前安東より內地へ向け通過
▲澁谷善夫氏(朝鮮新聞社長) 卅一日入京滿洲へ
▲佐藤剛藏氏(京城高等女學校教諭) 一日午前入京佳會へ

逐鹿夜話

▲今度の總選擧は何と云つても金澤市には餘程面白い芝居が始まり相な一方は名に負ふ中橋未來大臣一方は早稻田の永井小大隈と云ふ名物男が轡を並べたから溜らない兩名打ち揃うて戶別訪問位の珍劇は演ぜらるゝのだらう永井君の應援演說に出掛けやうと云ふのが高田前文相尾崎、田の內ケ崎作三郎大木遠吉伯吉野作造博士等の諸君を始め郁夫小山東助の兩總務も行くと云へば政友會からは若槻、濱口山本總務や小川平吉君なども中橋の後援に出掛ける相な而して同所は戶水寬人バイカル博士以來選擧と云へば演說は附物の樣になつて居るから今度も定めて盛んな事だらう

▲鳩山の春子婆さんは息子一郎君の一大事とあつて例の戶別訪問は奢いが何うとかすると直ぐ喧嘩を始めるので有權者間の評判が惡くなる許りの處で參謀長の大井玄洞君は勿論息子の一郎君迄が大に心配して貴女が出歩るいては得票が減るばかりだから何うか內に居て下さいと嘆願に及んだが婆さん却々肯かず依然戶別訪問を續けて居るのでオヤ〳〵と一同妙な顏

▲境玉三郎君の憲政會候補者綾部惣兵衛君は晝夜兼行で戶別訪問の苦行中だが制服巡査が自轉車で後を尾けるとは宛然たる走馬燈で流石の惣兵衛君も聊か降參の態だとは識者で投票函を踏み破る事は造作もなかつたらしいが存外足が弱いと見ねるヤレ〳〵

▲憲政會の守此鐵吾君横山勝太郎君の應援演說に出て盛んに辯釋擬いを捏ね上げて居たが「內閣は威信を內外に失墜して門前雀羅を殺く……」で大笑ひ

龍山兵營の徵兵檢査

逞ましき筋肉、男子の誇
一日から六日迄行れる徵兵檢査
今年は例年よりは成績がよい

今年の徵兵檢査は一日の午前八時から龍山步兵第七十八聯隊で行はれた檢査は一日から六日まで毎日引續いて行はれるのだが一日の檢査は八十五名、中六週間現役の二十七名も含むで居る、此の日

▽呼出令狀 を持つた壯丁は午前七時頃から三々五々營門をくゞり門內に設らへたる受付に出頭して休憩所で待つて居ると係りの將校から身體檢査の心得を申し渡される、それが濟むと一同營內の下士集會所に集り此所で愈よ光榮ある兵隊さんとなるべき檢査を受けるのであるが檢査は先づ一番の身長の

▽測定から 始まると、見れば順次に呼び出された壯丁は何れも逞ましい筋肉の裸體となつて『五尺二寸八分』とか『五尺二寸五分!!』とか呼ばれながら身長を計られる、六週間現役は五尺二寸以上、普通の步兵は五尺以上などといろ／＼兵科によつて規則が異ふが何れも第一に背丈けを見られる譯である、次ぎは體重の何貫、匁から三番目は杓子で片眼を蓋ひながら

▽視力檢査 四番目は甄より上の檢査とあつて先づ各種の色の印刷物を見せる色盲の檢査、軍醫さんのはなしによると百人の中には四五人の色盲があるとのこと次ぎに耳鼻、口腔內の檢査から第五番目の關節運動は指を折つて見たり拳固を作つたり猫のおまねきを眞似たりする終の各部の檢査は長谷川一等軍醫正が

▽町嚀に見 てこれで身體檢査全部終了となればこんどは中間殿の前で學術試驗、最後に徵兵檢査官三戸少佐の前で募兵の顏と見較べられた上いろ／＼な問答があつて合格、不合格、見込兵種が決定る、但し龍山で決定るのは假の見込兵種であつて愈よ本當は內地の聯隊區司令官で決定る譯ほ今年の壯丁は龍山の

▽受檢者の みで八百十九名、成績は終了して見なければ解らぬが概して今年は良好な方、從來多くの居た壯丁はヒョロ長い肺病患者のやうな人が多かつたため平壤、元山等の田舍の壯丁に當つて居たが今年の第一日は稍良好らしいとのこと、軍司令部からは竹內高級副官及び古城副官が詰切り猶ほ高橋總督附武官も視察に見えた、それに

▽京城中學 校からは藤井敎諭が出張して今春同校附屬の敎員養成所を卒業した新らしい敎員達を二十七名引率して來た、これ等の人は現役には服さず直ちに六週間を了つて國民軍の幹部となり更に小國民に軍事思想を注入するの大任ある人、斯の如き制度は光榮あるわが日本帝國の軍隊ばかりである、猶ほ

▽係の將校 はニコ／＼して曰く『歐洲戰亂の影響もあるまいから一般の壯丁が進んで徵兵檢査にやつて來るのは悦ぶべきことである』と

七年振に
懷かしき夫人の故鄕へ
▽△日本通揃ひ
一日夜入京すべき支那交通部員一行

支那交通部員王次長以下廿四名一行は廿九日午前八時着列車にて大連に着大和ホテルに[illegible]一行は直ちに[illegible]の出迎へあり[illegible]に分乗してヤマトホテルに入つた一行中の王次長及び[illegible]司計核科々長[illegible]の三氏は俱に日本人の夫人を有する日本通の人達である王次長は一行は交々語つて曰く

『私が日本に留學したのは十七の春で早稻田大學商等豫科を出てから法政大學に轉校し同校卒業迄丁度七年間

♣お國の敎育 を受けました今回參りますのは足掛七年目です、一口に七年と申せば譯はありませんが其頃の赤ん坊が小學校に通ふやうになつて居りますから東京も變化してゐる事だらうと思ひます日本で最も好きな所は矢張り箱根日光等で箱根には數回參りました

♣蘆湖に富士 が逆さに映つた景色は如何にも繪のやうで、斯うして話してゐる中にも明瞭と目に映つた景色が現はれて來ます今回の旅行は全く忙がしく、少しの暇もありませんから、箱根に行つた心で汽車の中から富士山を見上げ

♣曾遊の地を 偲ばうと思つて居ります滿鐵の列車は京奉線より非常に寢心地よく、又忝くも無く大層結構でした何しろ一行は大勢なものですから暇がでしみ／＼情など味ふ暇もありません

♣日支親善と 云ふ言葉はお互の口からはよく出ますが口先きの日支親善では困ります、私はどうかして日支親善を徹底したいと思つてゐます現に私の

♣妻は日本人 で今年二十六です、東京女子美術學校の出身で九成田紅子と申しました、今では男子二人女子一人の母で、北京に留守をさせてあります、私が日本へ參るのを羨んで居りましたが何れ此の次

♣日本に參る 時は伴れて行かうと思つて居ります留守を子供對手に繪など描いて居りませうが一行中私の外にも一人日本婦人を妻にしてゐるものもあります』と打融けて張氏を指すなど些しも隔てが無い更に交通部參事權量氏に刺を通ずれば『どうも有難う御座います』と立ち上つてチヨッキの隱しから交通部參事前署交通次長と記した

♣名刺を出し 『どうぞ宜しく』と同じく明瞭した日本語、其の他の人々にも一々初對面の挨拶と歡迎の辭とを述べると中には堅く握手を交へるもあつて、打ち融けた笑聲上下から起る○交通部員一行は…つて路政司計核科々長の張競立さんは、卽ち

♣王次長が噂 した日本婦人を妻としてゐる人であつた、夫人の名は後藤楚野子と云つて年二十七張さんとの間には男子二人と女子一人の子があるさうで、張さんは『私は三十一です』と披仰る坊うした打融けた言葉が互の間に取り換された(大連)

王交通次長

光養麿君得度式執行
信徒群れ集ふ
東六條の賑ひ

大谷派本願寺にては一日同派第二十四世たる可き光養麿君の得度式執行せらるゝに就き東六條附近は紅白の幔幕、球燈、緣門などを以て錦の如く飾られ卅一日夜來二百五十燭の電燈所々に點され不夜城の觀あり一日未明撰の御膳あり次いで二十餘町に亙る御練あり正午より得度式を擧げ勤行の事あり參詣の善男善女數萬に及び稀有の賑ひなり(京都特電)

△光養麿法名 一日得度式を終へたる光養麿君は門跡より法名を闡如上人と授けられたり(京都特電)

仲仕三百名精錬所に殺到
所員之に對抗して大爭鬪を起す

岡山縣兒島郡日比町日本金屬株式會社日比精錬所の仲仕三百餘名は請負人の更迭より恐慌を來し三十日夜同工場を襲擊し所員之に對抗せし爲め忽ち一大爭鬪を惹起せしが翌三十一日午前二時頃漸く鎭靜せり(大阪特電)

博徒一網六名

慶北[illegible]藤井[illegible]一(三三)新岡縣糸島郡波多江村生[illegible]明星[illegible]大賀安太郎(五三)[illegible]山賭銘に引致取調べ中なり(釜山)

連絡船上陸客 三月三十一日

本國府荒井[illegible]一、同[illegible]、柴友吉、荒木はる、同春雄、德田とよ子、同三千[illegible]、白井つね子、同淳、山本政之助、城倉半三、新田貞枝子、江島亦男、新井[illegible]、鈴木よし、佐々木以乃志、[illegible]

△一等三名[illegible]生太郎、前村[illegible]、小杉くわ、同みつ、吉武[illegible]△二等(六名)[illegible]△三等[illegible]

強盜、產業組合事務所を襲ふ

三十一日三重縣阿山郡新居村西村產業組合事務所に強盜押入り番人を縛し拳銃にて亂打し金庫を破壞しつゝある所を發見したるを以て犯人は直に逃走せり(大阪特電)

阪電職工罷工
工賃値上容られず

大阪電機製造株式會社鑄物部職工二十八名は工賃値上を請求せしも容れられざる爲め同盟罷業せり(大阪特電)

病父を救はんとて爆藥密輸

鐵の如く爆藥の密輸入を企てたる大連警島町汝臨清次郎(四)三同渡邊嘉平(三)及伏見丸事務長江元米吉(三七)の三名は仁川警察署に取押へられ三十一日仁川支廳に於て仲臨渡邊の兩名は懲役四月に江元は懲役二月に處せられたるが仲臨は元大連に於て二十數萬圓餘の資産を有したる貿易商にて仲々手廣く營み居たり然るに昨年來より家產傾き財產の差押へを受けたるのみか兩人の子供及び妻は餓に泣き父は病床に苦吟し居るより見るに堪ねず三月二十日頃老父にはハルビンに貸金を取りに行くと僞つて前記の如き犯罪を犯したる者にて同人は法廷に於て後悔の淚に咽び聞く者も貰ひ泣したる程なりしと(仁川)

犬に牧畜をやらにやあ不可んなう
▽第一期の檢閱から歸つた秋山大將△

秋山軍司令官の第一期檢閱巡視は三月廿一日に始まつて卅一日に了つた。其の間春川、平壤、大邱の各聯隊を巡視した大將は、卅一日の午後八時五十分龍山に歸着一日の日曜も朝から山ほどの書類に眼を通される。官邸の明るい應接室には黃色の連翹やゼラニユームの花が咲き亂れて、將軍の緒顏はいよいよくろい。『俺は寫眞は大嫌ひぢやが…俺の顏よりも此の縦の鉢植を撮つて吳れ。なに初年兵第一期の敎育か、何處もみな良好で內地の部隊に遜色なしぢや江原道は牧畜がエエのう、彼處では犬に馬や羊を飼はにやあ不可ん。朝鮮の馬を內地から供給するのは間違ひぢや。それに鮮人防寒用の羊の毛皮も、支那から輸入するやうぢやツマランぞ。犬に牧畜をやらんけりやあならんのう……』(一日の午前十一時官邸にて)

保險料千餘圓を横領す

富山縣西礪波郡若林生れの前科三犯、鬼脇長太郎は以前某保險會社京城支店の勸誘員として雇はれ中昨年七月頃より咸南鏡州地方に出張し同地遊廓にて豪遊し會寧、富寧、間島等に於て勸誘加入せしめたる第一回拂込金合計一千餘圓を悉く横領消費したる爲め淸津警察署に檢擧せられ身柄は咸興地方法院に送致され四月二日公判に附せられたり

龍山消防演習

新香龍山麻浦桃花洞の各消防組にては四月一日午前十一時より舊龍山若の池附近にて消防演習をなしたるが矢野龍山分隊長より人員其他の點檢及び訓示あり夫より實地の消防演習を開催し午後は一同の運動會を開催せり

平壤徵兵檢査

本月六日七日の兩日間に施行の徵兵檢査人員は六日九十六名七日百四名なりと(平壤)

弓術大會參會者

來る四月三日の神武天皇祭には京城俱樂部に於て弓術大會を催ほすにつき仁川よりは沿隈、小松、松田、加瀨、後藤、諸岡、平田の諸氏參會すべしと

各校開校式

仁川尋常高等小學校其他中等學校は四月二日開校式を行ひ授業開始は四日なりと

三井鐵山の運動會

兼二浦の三井鐵山に於ては四月三日の祭日に大運動會を催し[illegible]すべく當日は乘客の便宜を謀り新安州黃州間に臨時列車を增發する由

演藝案內

大正館 櫻井町 電話八七三 三月三十日より特別大興行 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 東京大阪落語若手揃大一座來る [illegible]

壽館 壽町 電話一〇三 [illegible]

御成座 御成町 電話一九一 [illegible]

有樂館 京城本町一丁目 早川演藝部直營 [illegible]

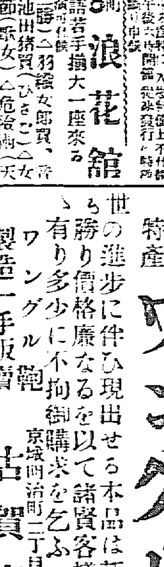
壽座 京城壽町 電話五七八番 曾我廼家蝶島會一行 [illegible]

子供入用
年齡十五六歲高等小學校卒業のもの數名募集す自筆履歷書携帶本人來談保證人二人を要す
京城本町一丁目 株式會社 明治屋京城支店

課題募集規定 [illegible]

天氣 曇り時々晴れ [illegible]

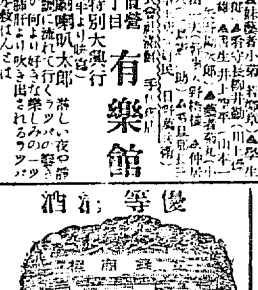
魚釣具及投網卸問屋 吉備商會 京城永樂町二丁目 振替京城四三二八番

運動用具は京城シノザキに有り

テニス道具 六圓以上ヨリ 各種
京城本町二丁目 篠崎運動用具店

學校用品荷揃 京城本町 シノザキ文具店
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

朝鮮特產 ワングル靴
世の進步に伴ひ現出せる本品は斬新上品堅牢革に勝り價格廉なるを以て諸賢各樣の大歡迎を受つゝ有り多少に不拘御購求を乞ふ
ワングル靴製造一手販賣 京城明治町二丁目四〇 古賀喜營業部 電話一八三三番
京城明治町二丁目六六 古賀喜靴皮具製造部

內科小兒科 外科花柳病 △入院隨意▽ 酒井醫院 京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡(朝鮮銀行前停留所より一分間) 電話二五四一番


優等 酒
釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話〇二三九番

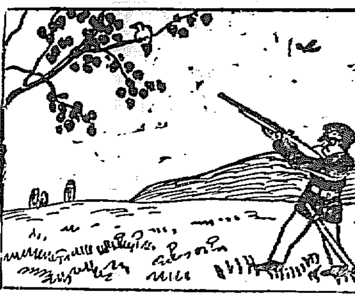
純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
ウラブ化粧品代理店ですから
御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番

夢の司令官

回健一さんは、大きくなつたら軍人になると云つてゐます。軍人になるには、先ずサアベルをもたねばなりません。これはお父様が買つて下さいました。それから兄さんが運動會に貰つたメタルを呉れましたから、之で勲章も出來ました。すると今度は健一さんが學校の成績が優等なので、伯父さんが、空氣銃をお祝ひに下さいました。これで健一さんは、もう立派な軍人さんになりました。

回銃をもつたのは、健一さんには、何よりも嬉しくて愉快でした。健一さんは、お庭の向ふに的を立てゝおいて、射撃の稽古をいたしました。だん／＼上手になつて、この頃では十發が十發まで、みんなあたるやうになりました。もう的だけではつまらない、獨逸の戰場へ出かけて行つて、獨逸の兵士でも打つてやりたいが、それはあんまり遠い所ですから、行く事が出來ません。せめて小鳥でもうつてやりたいと思ひました。この事をお母様におききすると、お母様は、

回可愛さうに、小鳥なんかうつんぢやありません。生物を殺してはなりません。」とおつしやいます。しかし一度でいいから何かうつてみたくてしかたがありません。健一さんは、ある日お母様にかくれて、近くの野へ出ました、そして木の枝に止つてゐる小鳥を見つけて『ドン―』と一發はなしますと、みごとにあたつたものらしく、小鳥はバサ／＼と向ふの畑に落ちました。健一さんが驅けつけるより先きに、お母様は今の音をきいておいでになり、負傷した小鳥を手にとりあげておつしやいました。



『健ちやん、なぜこんな亂暴な事をしたの。これは頬白だよ。可愛さうに羽がちぎれてゐるぢやないか。』『ね、頬白ですつて?』と、健一さんもびつくりしました。

回頬白と云へば、健一さんには思ひ出す事があります。それは去年の春の事でしたが、伯母さんの家から頬白を一羽もらひました。籠に入れて可愛がつて飼つてをりましたが、ある日籠の戸の隙から逃げ出したまゝ、その頬白は行方が知れなくなりました。健一さんはその事を思ひ出して、

『去年の頬白ぢやないでせうか?』と、心配しながらたづねました。

『さうかも知れない。だからもう小鳥なんかうつんぢやありませんよ。』

健一さんは悪い事をしたと思ひました。しかし幸ひにも頬白は傷が浅くて、籠へ入れて水などをやつておきますと、夕方には元のやうになつて、どこかへ飛んで行きました。それを見て健一さんは、やうやう安心いたしました。そしてもう決して小鳥をうつ事はしまいと思ひました。

回その夜健一さんが、お床について眠らうとしてゐますと、枕元のところでこんな歌を歌ふものがあります。

戰したけりや野原へおいで
大砲彈はうたずとも
霞の旗たなびいて
雲雀や眼白の軍樂隊
進め／＼と下知すれば
蒲公英、げんげ、土筆
原一面の勢揃ひ
菫は女で赤十字
空には燕の飛行機や
川では緋鯉の潜航艇
春の野原の戰場に
坊ちやん今日から司令官

回眼をあいてみると、今日の頬白が先きにたつて、春の小鳥がぞろ／＼やつて來ました。

『一坊ちやん、どうぞもう空氣銃をうつ事はよして下さい。その代り私共がみんな部下になりますから、春の野の大將になつて下さい』と、騒を揃ねてたのみました。

『イヤ僕こそ悪かつた。どうぞ許してくれ。その代り之からは仲よく遊ばうね。』と、健一さんも喜んで云ひますと、いつか身には大將の軍服をつけてたゐるのでした。

回これはお母様が、可愛い健一さんを、夢の國へつれておいでになつたのでしたが、それからは健一さんは空氣銃をうつのをよして、毎日野遊びに出かけました。空氣銃はすてても健一さんは立派な春の野の大將です。小鳥や花は、どんなに喜んでこの司令官を迎へた事でしたらう(をはり)

◇四月(一日午後龍山にて)

◆カビリア梗概

△後のカビリア 十年は過ぎ去つた、マシニサー王は隣國の王シフアクスの為めに敗られ涙をのんで僅かばかりの手兵を纏めて部下ルタを逃げ去つた、是の時マシニサー王の想人ソフオニスバ姫は、残酷なる父ハスドルバル總督の為に勝勢國王シフアクスの處へ嫁づかされた是の時曾つて姫の手に救はれたりしカビリアはエリザと名を付けられて姫の奴隷としてありしが是の度姫に從つてチルタの都へ行くことゝなつた、是の時ローマ軍はスキピオを將として再び攻め來つたマシニサ王は是を幸ひとローマ軍に投じた、フルビオスは同時に從軍していつたがたま／＼カルタゴの軍備を探るべく命を受けて城内にしのび入り無事に其任務を果たし其の歸途例の綺縦酒場に立ち寄りマチステの消息を知り彼を粉挽小屋より救ひ出す

△ローマ軍退却 兩人は無事に城中を逃げ出し味方の陣地に來り見れば[illegible]全軍の退却したる後にて其所在地不明の爲め困報した、マシニサ王は一國の敵であり又姫の敵である、シフアツクス王の陣營に火をかけた不意を喰つたシフアツクス軍はチルタへ向つて退却し初めた、フルビオス、マチステ兩人は退却中の敵に邂逅し遂にチルタ軍の爲に捕へられ王城の地下室へと押し込められた、チルタ女王ソフオニスバの奴隷エリザ(實はカビリア)は是等の捕虜に哀れを催し時々彼等に水を與へたりなぞせしこともありしが十年を隔つる昔と今日互にそれと氣が付かなかつたのも無理はない

△ソフオニスバの夢 チルタ女王は或夜モロツクの神の怒りにふれた夢を見た、是は昔のカビリアを助けた神の怒りと思ひ直ちに逗留中のカルタゴ大僧正に之を打ち明け今のエリザを昔のカビリアとして返すことにした、哀れなるカビリアに十年前の恐ろしき運命が轉刻し來らんとした、今や大僧正に連れられて行くカビリアを見たマチステは恨み重なるカルタゴの獄をよく記憶してゐた恨み骨髄彼の日は激しく輝いた彼の黒く光る筋肉はブルブルとふるへた

△マチステの復讐 マチステは大僧正の後をつけ彼が部屋の窓外に身をしのばせた、しかして室内の物語りに先の女の昔のカビリアなることを知ることを得た、彼が奮激の血は躍り上つた忽ち大僧正の手からカビリアを奪ひ返した從僕共はマチステを取り圍んだ是の物音を聞いたフルビオスはマチステを救はんとて共に闘つた、されど／＼多勢に無勢――カビリアは再び女王の許へ連れられた而して兩人は王邸の食料倉に監禁せられた

△マシニサの入城 マシニサは年來の仇敵シフアツクス王を倒し昔甦を思出多きチルタ城へ入つた、其處には昔の戀人ソフオニスバが彼女は王と婚してあつた而して互に昔の戀を忘れなかつた上に於て嬉しく手を握つた然るに是の城中に監禁なる取り扱ひを受けつゝありしフルビオス及びマチステは意外にもマシニサに救はれた

△ス將軍の憤怒 ローマ軍の將軍スキピオはチルタ女王を分捕品中に入れんことを主張せしにマシニサは直ちに是を拒絶したスキピオは大いに怒りマシニサを背徳者として陣營の一部に監禁した、マシニサは次いで來るべき自が運命を知つた同時に互に死する共に能はざる戀の相手者たるチルタ女王に毒の入りたる指環をマチステの手を經て渡した、ローマ軍のスキピオから使者は來た、チルタ女王ソフオニスバは云ふまた妾はチルタの女王である、如何なる力にも妾の肉體を持ち去ることの出來ぬのは妾の魂である、同時にカビリアを解放しフルビオスに渡したこの時が恰かも全身に毒薬廻り彼の女が死の迫らんとした前未際であつた、斯くして美しきソフオニスバ姫はローマ軍の凱旋の賑あはせとなるよりはマシニサの妃チルタの女王として燦の勝利者として死んだ

△光輝ある航海 やがて羅馬の凱旋艦隊は地中海の波濤を蹴立てゝ光輝ある航海の途に就いた、其の一般には愛國者フルビオスと忠僕マチステ並に美しきカビリアとが見る事が出來た、船は羅馬の船は喜びに滿てる船は目的もなく愛らしきカビリアを待つ年老いたる乳母の住めるシ、リ、島の神谷を矢の如く進んで行く希望と幸福の風を帆に孕ませて――

◉店員の春 平壌の店員運動會擧行準備

平壌の年中行事の一たる第八回店員運動會は實業青年會及び商業會議所主催の下に十五日午前九時より[illegible]運動場に於て盛大に擧行すべく主催者幹部長及び會員有志は過日來數回の集會を開き先づ毎年の例に倣ひ市内役員以下各部係員を推薦し引續き運動會準備を

△約千圓 と見込み市内を[illegible]各員を囑託したる右委員は來五日まで募集金額を青年會會計[illegible]根氏に提出する事となせり又運動

△競技に 關しては二十八日夜運動係員の協議會を招集して詳定し運動參加希望者は同五日限り申込むべく其競技種類は徒歩競爭二百ヤード(一般)全四百ヤード(二部)同六百ヤード(三部)同八百ヤード(四部)△二人三脚競爭△綱引競爭△行李競爭△障害物競爭△[illegible]競爭△スプーンレース△[illegible]マラソン競爭△右の外懸賞競爭は出場者[illegible]其參加申込所は大同門伊藤商店、南門町脇坂文鮮堂、大和町大塚出張店、壽町大鶴商店、旭町商業會議所、本町安州炭販賣所、山手町片倉組等にして斯く準備の進捗すると同時に平壌の人心も大に緊張し仲々の前景氣なり

◉鯉の子凍死す

平安南道龍岡郡廳を距る約十町餘の所に大なる池あり平安南道にては大正三年之れを養魚池と定め鯉の子を飼養しありて昨夏已に八寸乃至一尺まで成長したるに昨冬以來の嚴寒にて全部凍死したりと

讀者文藝(一等には五十錢の當籤券を呈す)

△謎「鏡と掛けて」

○入婿と解く、心は養子と稱へる(容姿鑑へる)(一等) 新館山麗話行内 染子

△袖行燈と解く、心は吞みつす(顔映す) 京城 故れ

△鍋お粉ごさ解く、心は方向へに移る 京城 初芽

△刺身庖丁と解く、心はおつくり(お化粧)に用 京城 鴉匪

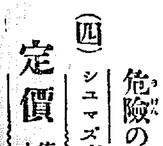
△年月と解く、心は移るばかり(映るばかり) 龍山 乃美

目ニ見ヘテズン／＼トキク
シマズイタマヌ
井上博士ノ
ロート目藥

ロートの特色

(一) 眼科を以て有名なる東京眼科院院長獨國醫學博士井上豊太郎先生處方に係り大前藥學士の鑑査を經たる故患者は安心して用ふることを得

(二) 病眼を不潔の手布等にて拭ふは目の爲に悪し故にロート目藥には下圖の如き消毒したる布を添ふ



(三) 點眼器は鋒の尖りたるは眼に危險也ロートの點眼器は鋒を丸くしたる故危險の恐れなし

(四) シユマズ痛まず故に小兒に用ふるに便利也

定價 徳用大瓶 五十錢 中瓶 二十錢 小瓶 十錢

全國各藥店にて請賣す

◎買方注意
(一)薬は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ
(二)薬は成べく高きものを買ひ玉へ
(三)薬は病の經き内に買ひ玉へ
◎善は急げ直ぐ試み玉へ

ロート目薬 本舗 東京市日本橋區本銀町三丁目 山田安民薬房 電話本局一〇九七番

ロート目薬 發賣元 大阪市東區南久寶寺町二丁目 山田安民薬房 電話南二〇八二番

[illegible]勢見村生れ[illegible](五四)

△一等(一名)[illegible]

△二等(五十五名)鈴木典名、同たか、今村徳重、坪福、早川利正、鈴木辰造、竹井かく、同たき、宇田龜吉、佐藤いと、同ふじ、岩谷源吉、新田耕市郎、同よしね、同文提、同武子、大和田塲、近藤德四郎、山田甕、秋山信好

△三等(三百八十七名)

三月三十一日午後九時釜山入港さくら丸一二等客

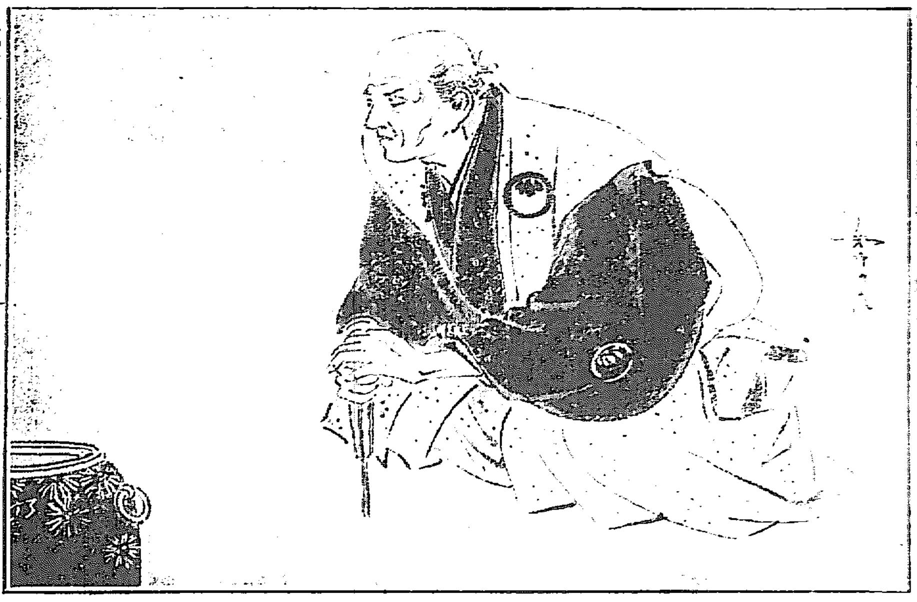
△下の句『眼の立』[illegible] △締め切 △落語「名」 △川柳「三」 △物付「落寄かぬものは」 △選『倉等丑と掛けて』

表後一週間[illegible]五十錢當籤券を呈す 何者何號と明記に限る △宛名は京城日報編輯局懸賞文藝係

汽車

明君道中記

第百三席 田邊南龍口演



本多上野介正純は一味の者を語らひましたが假令家來と云へど斯る大事はうかつに發言は出來ません、これならば大丈夫と云ふものでなければ語ふわけには相成りません、追々其人を選んで語ひまする處、第一番に一味をいたしたのが江戸家老の殿[illegible]柳園齋、其外宇野仁右衛門、柳八郎右衛門、追々一味に加はりまする。然し是等は何人あつても相談相手にはなりません所謂萬卒は得易く一將は得難きの譽臘、國家老の川村靭負と云ふ者が味方となれば是こそ我力になる。然し容易な事で此の靭負が承知をするものではございません、最も此の靭負は先代の時迄は鐵砲足輕であつたのを、父の正信が一足飛に城代家老に取立てました、當年七十餘歳にして大器量人でございます上野介は是を一味に加へんと思つて居ると江戸をお暇になつて國詰となりました故早速川村靭負をお呼出しになつて 上『如何に靭負、其方に訊ねる事があるが何事にも限らず拙者が意に背きはいたすまいな、何うじや』靭『是はしたり、事改つたる君のお言葉、臣として君命に背くと云ふ事はございません 上『左樣か、然らば邪正共に言葉に從ひ、必ず諫める事はならんぞ 靭『恐れ乍ら善惡共に君のお言葉に從ふべきが臣の道、改めて仰せのでございませんでも相定つて居る事でござる、手前はお父上樣のお眼識を以て鐵砲組足輕より御城代家老にお取立て下されたる者なれば、畢竟もと身輕き者故君には手前の心中をお疑ひ遊ばされて斯樣に御念の入つたる[illegible]と存じまする されば疑しき某へ仰せられずとも何事も餘の者に御相談あひなつて然るべくと存じます、手前儀は御免を蒙りませう 上『イヤ靭負、左樣ではない、只々其方が斯く云ふ上野介の言葉に從ふやうにと念を入れて申したのである 靭『固より御言葉には決して背かん心底にございます、上『然らば申し聞かすが改めて申すまでもなく斯く云ふ上野介は駿河大納言殿の御傅役に相成つたるものである然るに大納言殿は御心得違ひあつて御勘當に相成り上州高崎へ永の御預けと定まり御行路の其時に新町宿の川邊に於いてお別れを告げたる處、涙におくれ遊ばし今度の事は殘念であつたと仰せられた、その御心中を御察し申して上野介は暫くは涙に暮れて何んの言葉も出なんだ、善惡共に君命に從ふこそ臣の忠義、此の上は主君の意を繼いで、畏多くも當將軍家を仆し大納言殿を以て四代の將軍になし奉らんと心を碎きたるが其折もなく然るに今度將軍家日光へ御社參に就き宇都宮城へ御旅館を仰せ付けられたるはもつけの幸ひ、此時を失はず、是を失ひ奉り大納言殿を御代に出し申さんと云ふ謀みであるが其方是に力を添へてくれよ』と上野介の云ふ事を聞きし川村靭負は驚き、ハッと顏色を變へ 靭『是はしたり、怪からんお言葉でございます、君は固より徳川の家來ではござらんか然るに徳川三代の將軍をば討ち奉らんとは何事でございまする何か宜しからざる事あればこそ御父上のお怒りにふれ御勘當になり高崎へお預けになつたものでございます、然るに御自分樣は御傅役にならせられた其君故將軍を討ち參らせて、其君を以て四代の御家督に直し奉らんと云ふは甚だ以てお心得違ひにございまする、その儀は靭負、確と御意見を申し上げます、左樣な事に一味をいたすやうな靭負ではございません、何らか此儀は思召止るやうにお願ひ奉りまする』上野介も暫し默して居りました。

院長 醫學士 森定吉
內科 小兒科
芙蓉醫院
京城本町二丁目 瓦斯會社向側 電話二六二三番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進 販賣 鳥毛類高價買入れ
商 毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

周易 介石堂
明治町二丁目 岡村介石

京城府永樂町「商品陳列館通坂の上」
花柳病 皮膚病 須古醫院 電話二一〇二番

花柳病外科專門
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病
●婦人病●肛門病●皮膚病
●六〇六號注射●包莖●ヒステリー
子宮内膜炎其他手術 毎日
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院

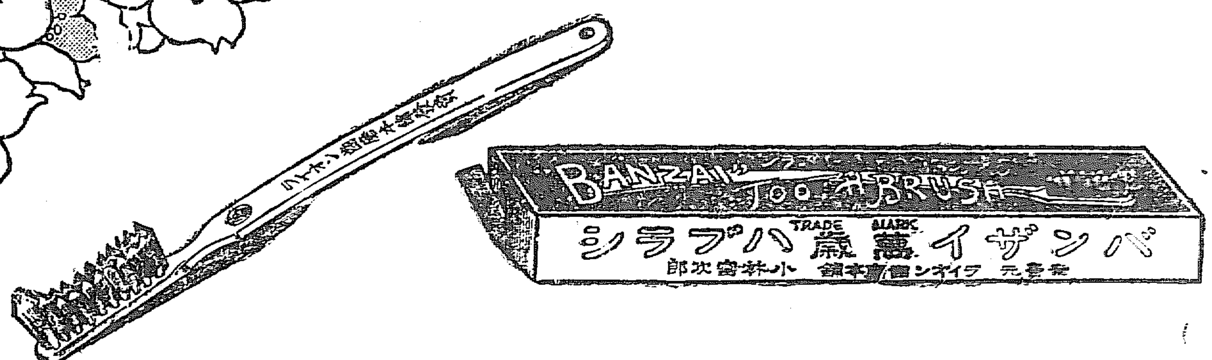
かぜ ねつ 最良藥
アンチピリン丸
商標に注意
三大特長 一、即效 二、副作用なし 三、服用に容易し
本舖 東京 壹圓、五十錢
賣捌は全國各藥店にあり

鐵道 拂下服類一切
夏服 セル地
特等 上等 中等 下等
其他色々有之候
平壤府廳拂下
平壤府 大和町
山中商店

あざ そばかす ほくろ いぼ
●全治して再び發生せず

りん病
急性慢性を問はず博士最新の製劑
山田文殊堂藥房

四月三日九星
舊曆二月十二日乙亥 本命六白乾納先西
▲六白 氣のすまぬ事ある日新事見合南方は吉 ▲七赤 […] ▲八白 欣然たる日 […] ▲九紫 不調和の事有る日 […] ▲一白 […] ▲二黑 […] ▲三碧 […] ▲四綠 一長一短の日なれども […] ▲五黃 […]



學理と實驗とに基き在來の齒刷子の缺陷を補つて最も衛生に適へる

完全消毒

『萬歳』齒刷子

『萬歳』齒刷子は今迄にない最も進歩した理想的齒刷子で、東京齒科醫學專門學校の熱心な指導に依つて完成した衛生品でございますから、充分御信頼遊ばす事が出來ます。

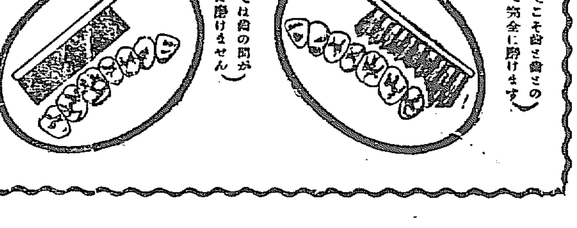
『萬歳』齒刷子の誇とする所は、在來の齒刷子の缺點を補つて、齒牙の清掃を遺憾なからしめた點にあります。口腔衛生學の原理に基く左記の七大特色は實に本邦の齒刷子史上に一新紀元を劃したものでございます。

思ふに『萬歳』齒刷子の發賣は、正に時勢の要求に應じたものでございまして、口腔衛生上に於ける『萬歳』齒刷子とライオン齒磨との關係は、恰ど車の兩輪のやうなものでございます。幸ひ皆樣がライオン齒磨の御愛用と共に『萬歳』齒刷子をも御愛用の上、完全な口腔衛生を行はせらるゝならば、弊店の本懷は此の上もございません。

▲定價
男子用一本 金二十五錢
婦人用一本 金二十錢
子供用一本 金十五錢

萬歳齒刷子の七大特色

一、毛束も柄も共に優等品質のものが使つてあります。そして毛束の大きさが夫々違つてゐて、各段の末端は尖つてゐますから、齒と齒との間を容易に磨く事が出來ます。
二、毛束の配置は何れも適當の間隔を取つてありますから、齒の掃除も齒刷子の掃除もよく出來ます。
三、刷子の形は顎の形としつくり合つて、先端の毛束は特に大きくなつてゐますから、齒の裏でも表でも咀嚼面でも夫々充分に磨く事が出來ます。
四、毛束には硬いのと軟かいのと二種ありますから、使ふ方のお好み次第何ちらでも選む事が出來ます。
五、毛束の大小長短によつて、大人用と子供用との二種に分けてあります。其内、大人用のは更に男子用、婦人用の二種に分けてありますから、都合六種になります。
六、柄は丈夫で出來てゐますから持がよくて使ひようございます
七、刷子は丁寧に消毒した上、清潔な箱に入れてありますから商店へ陳列された後も手垢などで汚れる憂はありません。



萬歳齒刷子發賣元
ライオン齒磨本舖
東京本所外手町 小林富次郎
支店 大阪市博勞町二丁目
地方倉庫 名古屋市桑名町四丁目

（明治三十九年九月三日第三種郵便物認可）

第三版

京城日報

四月二日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　郵稅一ヶ月金拾五錢
廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢　▲二號活字八字詰壹行金
發行兼編輯人　奥田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

……昨年始めて仁川に試みられしも設置初年の事とて未だ充……六尺の大樽九個を備へ外部をコンクリート塗を以て圍み充分の設備を施す……罐中の浮袋を以てゼラチン即ち純良なる膠を製造するの試みをも爲す計……腸と共に廢棄せらるゝ浮袋のみを以てしてゼラチンを採取精製しえる其……漁獲高三萬圓以上に達し其他の魚族の捕獲も豐富なるに加へて漁業の殷盛に……民業として之を一般に奬勵すべしと（群山）

……る等暴行を爲したるより西鬮方にては直に同地巡査派出所に急報し警官共取調べの上三十日拾事局に送らる

京城日報 教育革正論（六）

朝鮮の宗教と國民教育

朝鮮に於て、儒教に亞で朝鮮人の思想精神を支配したるものは、佛教也。佛教に亞で耶蘇教也。而かも此等の宗教は、今日に於て、果して朝鮮教育の標準たるべき乎。

佛教の半島に傳來したるは、高句麗小獸林王の二年、我が仁徳天皇の六十年に在り。其の百濟に入りしは其後十二年にして、新羅に入りしは又其後に在りしと雖も、所有莊嚴と所有微妙とを具備せる佛教の感化は、三國を風靡し、非常の速力を以て全半島に廣迪し、儒教と共に朝鮮を文明化せしめたる一大要素と爲れり。而して朝鮮に於て、佛教の最盛時代を高麗の大祖より宣宗に至る間と爲す。

然れども、李朝以來、太宗に及び、大に佛教を淘汰し、文宗の時、度僧を嚴禁し、成宗の時、宮中に於ける一切の佛式を撤し、中宗の時、忌辰齋を廢し、顯宗に及びては、城內に在る慈壽、仁壽の兩尼院を撤し、年少者は之を還俗せしめ、老者は之を城外に黜け、都鄙の淫祠を嚴禁したり。而して僧尼は其の城內に入るをも禁せられ、其の說法をも制限せられ、諸神混同の宗派は悉く滅び、唯纔に太宗の許容せる禪教の其の形骸を留むるも、教は唯其目を存して體脈を失し、禪は石室の一隅を存するのみ。

此の如くにして朝鮮の佛教は、政治的壓迫の結果、其の權威と信仰とを失し、今や全く死灰的宗教と爲り了せり。而して僧侶は擯斥せられて七賤の一に入り、啻に社會を感化し、衆生を濟度するの精神のみならず、嚴棲谷飲、唯山中の隱者として、太平の逸民として、別天地の生活を營むに過ぎざるが如し。安ぞ彼等に托するに朝鮮教育の使命を以てするを得ん哉。

佛國天主教の朝鮮に入りたるは、西曆千六百年代の末葉、即ち李朝肅宗の時代にして、彼等宣教師の傳道を企つるに至りたるは、千七百九十一年（我が寛政三年）の交を以て其始めと爲すと雖も、爾來彼等宣教師が其の道を說迪し、漸次其の勢力を占め、今や布教區域を十三道に及ぼし、信徒十萬以上に達するも、寶に佛教衰滅、儒教廢頽の後に出で、其の基礎を樹立し、朝鮮人を感化するに努めたるに由るもの也。

佛國天主教に踵で、米國及び英國の基督教、朝鮮に入り、漸次に布教區域を擴張し、著々傳道の効果を收め、今や朝鮮に於て、吾人の看過し去る可からざる勢力と爲れり。

此の如く天主教や、基督各教會が、朝鮮に入り、風教廢頽の後に出で、博愛平等の教を以て、衆生を濟度し、社會を感化するに努めつゝあるは、吾人が人道の爲に其の事業及び多年の功績に對して、感謝せざらんと欲するも、能はざる所也。而かも朝鮮教育の大任を彼等に託すべきや否やは、自ら是れ別個の問題に屬す。

一言以て之を蔽へば、宗教は靈魂の學問也。立命安心の學問也。人は固より麵麭のみにて生くるものにあらざると同じく、靈魂のみにて生くるものにあらず。宗教は靈魂を救ふに缺く可からざる機關なりと雖も、之を以て國民教育の標準と爲す可からず。國民教育は、一日も現實世界を離る可からざると共に、實用的學問を基礎とせざる可からざれば也。而して吾人は、此點に於て、宗教と教育との畛域を明確にし、表裏內外より一致提携の實を擧げ、朝鮮の敎化に貢獻せんことを期するもの也。

○滿洲に於ける 支那側新設銀行

△新銀行設立の計畫

從來滿洲に於て營業せる支那側銀行は本店銀行としては東三省官銀號、奉天商業銀行、黑龍江省官銀號、奉天興業總銀行、吉林官銀錢號、廣信公司等の諸行を數へ支店銀行としては中國銀行、交通銀行、殖邊銀行の諸支店あるに過ぎざりしが最近一兩年來支那側に於て滿洲に於ける金融事業に著眼するもの甚だ多く新に銀行を設立し若くは支店を開かんとするの計畫頻々簇出すること宛然雨後の筍の如き觀あり今其主なるものを揭ぐれば左の如し

一、華富殖業銀行　二、中華滿蒙殖業銀行
三、裕國實業銀行　四、官　貸　局
五、蒙藏殖業銀行　六、哈爾賓農產銀行
七、奉天農業銀行　八、農　工　銀　行
九、探　金　銀　行　十、興業銀行支店
十一、殖　花　銀　行

即ち世上に發表せられたる計畫のみにても既に十行の多きに上れり但し其の進捗の程度に至ては各一ならず既に設立の認可を得て開業したるものあり又近く開業を見んとするものあり尚計畫中にして未だ認可の運に至らざるものもあり如斯滿洲を營業區域とする銀行の計畫最近盛に現はるゝ所以のものは蓋し同國の識者が邊境開拓の必要を自覺したるに依るものなるべしと雖も亦我帝國の經濟的勢力日に同地方に擴張せらるゝを見て之に對抗して自國利權の擁護を計らんとする

△愛國的動機

に出でたるもののあるが如し其の設立の目的は兎も角も此新立銀行にして眞面目に其の業務を營み能く其の使命を遂行するに於ては滿洲經濟界の發達上貢獻する所尠からざるべきも之に反し其の當事宜しきを得ず營業の方針を誤り徒らに不換紙幣の發行を事となすに於ては左なきだに紊亂に苦める滿洲の金融市場をして益々困憊せしむるの結果を生ずること明なるを以て右新銀行の將來に就ては世人の注意を怠る可らず

▲新銀行の內容

前記各新銀行の內容に付ては其の詳細を知るの材料を得ずと雖も新聞紙其他に散見するところを綜合して之を述ぶれば左の如し

▲華富殖業銀行　本行は姚錫光、張殿英、明徵、馬吉符、姜鑿等の發起に係り資本金六百萬元にして株式組織となす民國四年七月二日附を以て民國政府（財政部）より其の設立の許可を得たり本行の目的は專ら東三省の墾牧、林鑛等の各實業を振興し之が金融機關となるにあり本店を北京に置き支店を滿洲各地の必要なる地點に設くるの計畫にして今回長春城內西三道街に支店を設置し今年一月（陰曆六年）二月八日より開業せり本行の業務は（一）不動產及動產を擔保とする貸付（二）金銀貨幣及び有價證券を擔保とする貸付（三）預金（四）地金銀及び各種貨幣の賣買（五）爲替事務及び仕拂手形の發行（六）手形の割引（七）公府事務の代理等なりとす

▲中華滿蒙殖業銀行　本行は馮太和、全雋志、劉先民、朱道炎、李宇搜、王蔭堂及び鄧秀璿等の發起する處にして民國五年五月二十五日政府の許可を得て其の設立を見たり其の組織は株式組織にして資本金を一百萬元とす本行の目的は金融を調節し滿蒙の實業を振興するにあり本店を北京に支店を奉天省城に設置す其の業務は略ぼ華富殖業銀行の業務と同じ

▲裕國實業銀行　本行は張寒坡、續閩、王洪身、董耕雲、亞維坦、李超周、東海、陳慶蕃八名の發起に係り株式組織にして資本金を二百萬元とす民國五年十月二十七日附を以て其の設立の許可を得たり本行の目的は專ら東三省塞北一帶の墾牧、林鑛等の各種實業に對する金融機關となるにあり本店を北京に置き支店を哈爾賓に設置したりしが更に之を鐵嶺、開原、西安、西豐等各縣に增設すべく目下準備進行中なりと云ふ（未完）

佛國海軍

佛戰以來陸上には不斷の砲聲響けるに反し海上に於ては獨逸の潛水艇を中心とする小海戰以外に艦隊砲戰の起れるもの甚だ少し然れどもヘルゴランド、バイト海戰以來スカガーラックの英獨主力會戰に至るまで五回の交戰を見たるのみならず英國海軍の如きは不斷に活躍し

◇獨艦隊亦英軍をして

一日の休安を許さゞる無形の働きをなしつゝあり然るに嘗ては天下第一の海軍國たり又近くまで英國に次げる海軍國として又現に海軍一等國として列強の間に重きをなせる佛蘭西の海軍は開戰以來殆んど爲す所なく世人は全然同國の海軍を忘れ果てたる觀あり然らば同國の海軍は事實に於て何事をもなしつゝあるか開戰後間もなくアドリアチック海に於て佛墺艦隊の會戰あり墺の輕巡洋艦ゼンタを擊沈せる外は多く自國艦艇を喪失せるのみなり

◇此外海戰に參與

せるものとしては（一）ゴーロア、ブーベー、アンリー第四世、シフラン、シャーレマンの五戰艦（舊式）がダーダネルス海峽砲臺の攻擊に盡せること（二）墺艦隊をポーラの奥に壓迫封鎖すること（三）地中海に獨艇作戰を行ふこと（四）マルモラ海に潛水艇を派して土耳其の通商を破壞することの四方面に分つを得べし、孰れも勞多くして効少き方面の作戰なれば最も割の惡き結果を見るは誠に止むを得ざる所なり然らば

◇佛蘭西の失ひたる艦艇

は如何と云ふに總計二十二隻に達すべし中にも最近準ド級戰艦ダントンが地中海に於て獨潛艇に雷擊せられしが如きは損失の最も大なるものと言ふべく苟くもドレッドノートが一隻にても地中海を航海するなぞは聊か呑氣の沙汰とは思はれざるに非ず以下艦艇と其喪失原因を列擧せば次の如し

艦名　種	原因	海面
ダントン（準ド級）	獨艇の雷擊	地中海
ブーベー（舊戰艦）	觸雷爆沈	ダ海峽
レオンガンベッタ（裝甲艦）	墺艇雷擊	オトラント
アミラルチャアナー（同）	獨艇雷擊	シリアン
カサビアンカ（機雷沈設艦）	自雷自爆	シマイナ
カンガル（潛運船）	獨艇雷擊	[illegible]
ゼルー（砲艦）	獨艦砲擊	タヒテ
レノーザン（驅逐艦）	墺艇雷擊	ツラゾー
ダーゲ（同）	同上	アンチバリ
フオアケ（同）	獨艇雷擊	オトラント
フアンタシン（同）	衝突	地中海
ブラチパス（同）	觸雷爆沈	伯國沖
モスケー（同）	獨艦砲擊	ペナン
クリエ（潛水艇）	捕獲（墺）	アドリア海
ターキュース（同）	同上（土）	マルモラ海
フレスネル（同）	砲擊（墺）	アルバニア
ホールカルト（同）	同上（同）	アドリア海
アリオナット（同）	觸雷爆沈	ダ海峽
ヨウレ（同）	同上	同
モンゲ（同）	墺艦砲擊	カタロ沖
サフイア（同）	觸坐	[illegible]
其他水雷艇三隻		
計　二十四隻		

註此外に商戰艦一隻、巡洋艦二隻の沈沒せるらしきも確報なし

◇佛蘭西の開戰當時の艦艇

は下級戰艦十一隻、準ド級艦六隻、舊戰艦十六隻（ターレットシップを含む）裝甲巡洋艦十九隻、快走巡洋艦五隻其他十隻に加へ驅逐艦百四隻、潛水艇八十二隻大型水雷艇百五十四隻を有し北海を英國に委ねて地中海に作戰するためには可なり充分の艦艇を有せり其驅逐艦以下に於て最も有力なる一事が過去の水雷國防主義の俤を偲ぶべく一方に快速巡洋艦少くして嚮導の要素を缺如せるを窺ふに足る然れども對獨艇の戰策には甚だ好都合にして現に見ねざる活動を續けつゝあるを知るべし但し主力艦隊は全然活動の餘地なくして港內にあるものゝ如し

信用の能きね 獨逸戰時公債

△世界第一と自稱

獨逸政府の第六回戰時公債が四百二十億馬克に達したとアムステルダム通信は報道してゐるが、これは獨逸人が其の自己の信用を世界第一と誇張し、中歐帝國の信用は、優に聯合國側の財力に比して優越してゐると誇つてゐるのであるが、併し獨逸の公債制度は獨特一種の制度であるから、勿論當然の事として多くは其の償還期限に取引に上すことは出來ないのである。

△投資を要求する

獨逸國債の發行價格は、官憲の自由意志で定められる。即ち獨逸帝國の財政策は、此等國債の成功を保障する爲めに、各方面の資力を集中するにあるのだから、獨逸國民は投資の自由を許されないで、強制的に放資を要求されるのである。政府の御用を承る國民は、其の用途に對する支拂を受けて、國庫宛ての支拂命令書を受取るのである。此等の支拂命令書は、獨逸帝國銀行に提示して其署名を受けた後諸銀行に持ち込まるのである

△壓迫に依る應募

獨逸の御用商人は、只だ官憲の意思の儘で、國債の募集に應ずると否との自由を有つてゐない。だから國債應募の公表は、御用商人等をして、國債に應ずる不條理なる壓迫に依つて、已むを得ざるに至らしむるのである。之れが爲めに、獨逸に於ける國際組織は、單純であつて、唯だ國庫宛ての支拂命令書を發し、それを國債に換へると云ふ位のものである。そして一旦國債を整理すると政府は更らに新たな支拂命令書と大藏省證券とを連發するのである。

△六箇月毎の整理

獨逸では戰時公債の發行は、六箇月毎に行はれてゐるが、此の六箇月毎に公債を整理するのは、獨逸に取つて、必要なる條件である。何故かと云へば獨逸では國民が自由に充分に、大藏省證券に應募せないからである。それから、獨逸の重なる同盟國の墺太利では、獨逸戰時公債は何うだといふ、同國では其の發行銀行の貸借表が公にされてゐない。一體墺太利は、ある種の有價證券の利札の支拂に對しては其の職能に於て約したる事を守らないのである。

△墺國新聞の自白

ニューフレー、プレスの自白する所に依ると墺太利は開戰後に至つて其の從前の公に計上されてゐなかつた、此の國の豫算は其の數字は、千九百十四年六月のものを、其儘踏襲してあるが、斯かる隱蔽化しに依つて、同國の歳入は、三十二億九百クローンスに達し、歳出は三十二億五千七百萬クローンスに上り、千九百十五年乃至千九百十六年度歳入の不足額は、四千八百萬クローンスと云ふ僅少の額を示してゐるのである。

△二十億の在庫金

獨逸の戰時公債は世界第一だと自ら誇稱してゐるが、斯かる基礎の上に立脚してゐるものが、其の世界第一の信用なるものであるか。だから若し墺太利側で信用する人があつたら、其の人は世界中で一番騙され易い人間であると云ふ事になる。中歐帝國で、千九百十六年十一月七日の調に係る獨逸の在庫金は、三十億八千七百萬馬克であつたが、墺太利帝國銀行では、今に至るも何等の貸借表すら發表してないのである。是れに由つて觀るも、獨逸の第六回戰時公債なるものゝ信用が如何に薄弱であるかゞ[illegible]するのである

東京文學博士・東大教授　服部宇之吉先生
學習院教授　小柳司氣太先生　共著

詳解漢和大字典

今や詳解漢和大字典は書物の領域を擴大して執務要具の主品となれり

十萬部普及版　特價金二圓
正價　金貳圓五拾錢（郵稅十六錢、臺・樺卅五錢、鮮・支四十五錢）
縮刷　四六判二千餘頁厚さ二寸四分容量四百匁泰西辭典の新式に則り簡便にして最も實用に佳也
特製（背革インデクション附）　特價金貳圓五拾錢

◇實用便利なる漢和字典は吾等が毎日の生活に密接に交渉し來る

漢字は國字の基礎たり。漢語は第二の國語たり。漢字漢語の辭典は我邦に取りて國語辭典以上に緊要切實なる實際的需要を有す。偉大完備せる國語辭典は寧ろ國民の體面の爲必要なれど、實用便利なる漢和字典は直ちに吾等が毎日の生活と密接に交渉し來る。今日の社會に立ちて何人も苦しむ所は漢字の知識の不足なる事にして、漢和字典なしには本も讀めず新聞も讀めず、手紙一つ文書一つ認むるにも不便を感ず。堂々たる紳士も誤字當字を書きて笑はるゝ事あり。可惜有爲の青年も文字を知らぬ爲に立身の途を塞がれたる例少からず。而も此の面倒なる漢字は吾等の子々孫々に至りても、到底廢止消滅の時期なきのみならず、却て社會に新事物現はれ、新文明の輸入せらるゝ度毎に、新漢字、新漢語は無限無窮に增殖せんとす。今日以後、苟も明國民として十分の動活をなさんとすれば、漢字漢語の征服は絕對必要事なり既に絕對必要事なりとすれば出來る限り捷徑を擇ぶべし

本『詳解漢和大字典』の利用を措いて亦他に捷徑あらんや

權威ある公評

東京朝日　本書は近來の字典界に一光彩を添へ得たりといふも溢美にあらず、最後に草字部首索引を添附せし、表紙見返しに詳細なる字音索引を加へしと、便覽の外に熟字は其字を首字とする同字の熟字をも檢出し得る等この同時に他の首字を有する熟字を一般に檢出し得る便宜を與へしと、音は正音を加へて之を略せざりしと、通用しつゝある慣用音を用ひ慣用字は悉く網羅せると、文字も普通に用ひらるゝものを旨とせり漢和字典中の最も整備せるものとして推薦するに足る

萬朝　本書は現代の需要に應ずべく選擇解釋したる事を努めて新語は一々之を收め漢語の數無慮七萬而して各所に長所特色を稱すべきところなり又本書は社會が最も貴重なる便利なる漢和字典として推薦すべきものたり以て社會に第一の無數の低廉なる書の流通を特に盛ならしむるに資すべきものたり

權威ある裏書　本書は教育社會に無上の信用を博し中等學生唯一の參考辭典として全國數百校の指定書に特選せらる

內容見本進呈　東京神田　富山房　振替一〇五　賣捌全國書店

露國政府閣員の宣誓

飽迄國民の主義自由を尊重せん

露國臨時政府閣員全部は去月二十八日元老院に到り各々嚴肅なる態度を以て左の如き宣誓を爲せり（露都電報）

余は議會に依て組織せられたる臨時政府の一員として全智全能の神の御前に露國々民の爲め忠勤を竭つるを誓ひ併も全力を擧げて國民の自由權利名譽及威嚴を擁護し如何なる場合に於ても國民の主義自由を尊重すべく舊政體の復舊を圖らんとするの企畫に對しては其の直接なると間接なるとを問はず有ゆる手段を講じて是を防遏し一般投票に基く立憲議會は最も速かに之を召集するの方法を講じ而して是が成立の曉には現閣僚と共に余が臨時に保有する權能を議會に返納すべし

支那政府の參戰決定

但外交總長後任決定迄延期か

支那政府は非公式に聯合國各公使に對し支那政府の外交に對する決議を宣明せるが右に依れば政府は聯合國參戰を決議したるも目下の急務は內政上一日も早く外交總長の後任を決定せざる可らず然るに其の後任は國會との關係上種々面白からざる成行を呈せるを以て政府は外交總長の後任を定むる迄參戰を延期せざる可らず各公使之を諒察せられたしとの意味なるが如し（北京特電）

露獨兩軍の大激戰

露都公報に曰く露獨兩軍は北東の戰線（リガ方面）に於て大激戰を爲しつゝあり（桑港電報）

李王家典範調査

起草委員渡鮮

帝室制度審議會にては目下李王家に關する我が皇族制度の審議中にあるものゝ如く先づ李王家典範を調査するの必要を認め李王家典範起草委員岡野敬次郎博士馬場鍈一栗原幸太郎の三氏を京城に派遣調査せしむる事とし同一行は多分四日頃東京出發の筈也而して當初は帝室制度審議會總裁伊東子爵自ら渡鮮の豫定なりしも子は差支ありて結局前記三氏を派遣する事となるべく右は李王世子殿下御婚儀迄に決定發布せらるゝ事となるべし（東京特電）

竹添博士

明治十七年朝鮮事變に當り京城駐紮本邦公使として功名ありたる文學博士竹添進一郎翁は久しく相州鎌倉にて病氣靜養中なりしが三月三十一日夜危篤に陷り四月一日危篤の狀態にて歸京後逝去せり是より前き危篤の趣天聽に達するや翁が從來の功勞を思召され左の如く位勳陞敘の御沙汰ありたり（東京特電）

正四位勳四等文學博士　竹添進一郎

敍從三位（特旨）

敍勳三等授瑞寶章

海軍將官異動

一日附を以て海軍將官異動左の如く發表ありたり（東京特電）

第四水雷戰隊司令官海軍少將　松岡修藏

免本職補佐世保海軍工廠造兵部長

佐世保海軍工廠造兵部長海軍少將　岡野富士松

免本職補第四水雷戰隊司令官

海軍少將　中島市太郎

海軍機關中將　賀茂嚴雄

豫備役被仰付（各通）

辭令

一日朝鮮總督府所屬官吏に對し左の如く辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府警部　森脇英士

任朝鮮總督府警視（八等）　藤岡重一

任朝鮮總督府技師（七等）

朝鮮總督府臨時土地調査局監査官　尾石剛毅

同　木村宣祐

同　河內圭司

同　山崎昌太郎

任朝鮮總督府臨時土地調査局副事務官（六等）（各通）

朝鮮總督府臨時土地調査局書記　久

同　輔

同　技手　太郎

同　之助

任朝鮮總督府臨時土地調査局監査官（七等）（各通）

異動地整理の調査

土地調査の進行に伴ひ其の全く終了せし府郡には總督府より土地臺帳を備へ附け不動產登記令を實施して土地の異動整理をなしつゝあるが該府郡中異動地整理事務に何程熟達せざる爲め若干の誤謬を生じ居る點なきに非らず斯くては巨費を投じ多大の時日を費し漸く終了せし土地調查の效果に遺憾少なからざるを以て最近當局の間に各府郡に於ける異動地整理狀況檢查班組織の議あり若し實行となれば既に其の取扱ひを開始せる地方府郡廳に於て執務の實際を視閲し其の誤りを正し適當の取扱方を指示するものにて多分檢查班は內地人土地調查局官吏を班長とし內地人及び朝鮮人多數を之に隸屬せしむべく目下研究中の由

間島鮮銀影響

間島龍井村に於ける鮮銀出張所は三月二十日より之れを開きしが同地方に於ける氣受けは頗る良好なるものゝ如く其開店後の狀況を聞くに邦人側は主として爲替割引並に貸出しに關する銀行の方針を質問し鮮人側に於ては銀行の取引範圍或は貸出しに對する態度を質し支那人は支那內地との取引方法等詳細に渉りて承諾し自身出頭或は局子街等より一々書狀を以て銀行の設立を祝し且つ其の營業方針を照會し來る等其の半面に於ては自國銀行に比し鮮銀信用の超越を熟知せるやの模樣あり兎に角鮮銀の出張所新設は間島對朝鮮內地貿易の關係に堅實なる發展を促し日鮮支商の受くべき便益は尠少ならざるべし

北支航路復活期

朝鮮郵船會社の北支那航路就航船江原丸は三月末迄全羅丸に更り門司雄基間に就航したるが四月よりは當分元山浦鹽間を航行し浦鹽行き大豆貨物の輸送に從ふ由なれば休航中の北支航路の復活は當分望み難かるべしと聞く

東拓決算締切

東洋拓殖會社に於ける大正五年度の決算は三月三十一日を以て一齊に締切り營業現況により本社及び各出張所共四月十日迄に大體纏まりを附くべしとの事なるが其の昨秋の收穫に係る農產物は既に約其の五割方を放賣し居れりと

慶南檢米改正

慶尚南道米穀組合は三月三十一日限り廢止し新たに慶尚南道令第四號を以て米穀檢查規程、同第五號を以て大豆檢查規程、同第六號を以て米穀檢查所規定を發布し四月一日より實施の筈なるが從來の慶尚南道米穀檢查組合規則に對照するに差したる變更なきも新規程に依れば從來檢查所は矢張り釜山に設置し各地の檢查所は四月一日より慶尚南道米穀檢查所出張所と稱し從來の米穀組合正副組合長及び理事檢查員を廢し所長、主事、書記、技手及び技手補を置き所長は道長官の指揮を受け道廳に在務し主事以下檢查員は檢查所及び同出張所に勤務することゝし檢查所所在地は釜山に、檢查所出張所は馬山、晉州、河東、辰橋、泗川、三千浦、船津、進永、鎭浦、下端、密陽、洛東江、檢川、府山、居昌に設け檢查證印及び封緘紙の樣式は角形にて優等證印は周圍にクイナン丸の內に特字方四寸五分赤色、上格證印は同上丸の中に上字青色、下格印、輸出移出又は搬出し得るもの同上丸の中に下字黑色、輸出移出又は道別に搬出し得ざるもの同上丸の中に不字黑色、封緘紙は長一尺巾一寸赤色紙に檢查所名及び檢查年月日檢查員の認印を附することゝ其他衛造法は從來の如く、規程に違背し又は不正の行爲ある場合は百圓以下の罰金又は科料に處する筈なりと而して本規程は發布の日四月一日より實施せらる筈（釜山）

露國新政府の大臣

何れも民黨歡迎の理想人物也

露國新政府の內閣諸大臣は今年一月の初莫斯科に於ける政治家及び一般識者の大會の席上理想內閣として記述せられたる位にて人物揃ひなるが先づ

▲首相　總理大臣グオルギー、エウゲニウイチリイヴオフ公爵は千八百六十一年獨逸サクソン國の首都ドレズデン市に生れ莫斯科大學法律科を卒業したるは千八百八十五年の事なり其翌年は農事特別委員に擧げられエピファナ莫斯科ツール等に往來せり次にはツールの縣農會長に選ばれ政治家若くは識者間に知らるゝに至れり日露戰爭當時にありては一般農會全權委員長と爲りたるが之れは今次の大戰に當りて全露農業同盟となれるものなり千九百五年六月六日露帝ニコライ二世陛下に御使者として赴きたる委員の一人なり下院議員には第一回選擧の時ツール縣より選出せられたるが國民自由黨の一員なり

▲外相　外務大臣パウヨルニコライウイチシリユーユフ氏は歷史家として社會學者として政論家として其雷名は全歐に響き渡れり千八百五十九年の出生にして莫斯科第一中學を卒業し莫斯科大學の博言科を卒へたり學士論文には『十八世紀上半期に於ける露國帝國の主人公とピーター大帝の改革』といへる問題なりき次いで同大學の助教授に任せられたりしが幾何ならず舊政府の忌む處となりて職を免ぜられたり千八百九十七年より千八百九十九年までソフィヤ大學の教授たりき國民自由黨の創立者にして之が首領たり新聞レーチ紙の編輯者にして露國史考古學其他の著述甚だ多し下院議員には第三回第四回選擧當時孰れも露都より選出せられたり刺客の爲めに一度ならず襲はれたるが幸にして其都度無事なるを得たりしと

▲法相　司法大臣アレクサンドル、ケレンスキー氏は閣員中最も年少の大臣にして今年僅かに三十五歲實に千八百八十一年の誕生なりタシュケントにて中學を卒へ次いで露都大學法科を卒業したるなり其後露都の司法官界に入り幾何ならずして頭角を現はして最近大なる政治的進歩の保護者として急速に認めらるゝに至れり非常の雄辯家として知られ十川金鑛會社の砂金場に於ける或事件調査の爲めに西比利亞ボダイボの旅行は特に彼をして有名ならしめたり此研究の結果は頗る光輝あるものにして議會に發表せられ問題を惹起せるものなり國民雜誌ブーレー通信の編輯の一人にて勞働黨の首領たり下院議員にはサラトフスキー縣より推擧せられたるものなり

▲遞相　交通大臣ニコライピイサレオノウイチネクラーソフ氏はトムスキー技藝學校の教授にして橋梁學の講座を擔任せり千八百七十九年に生れ千九百七年交通技師學校を卒業せり其後外國にあること二箇年に修養する處あり第三回及び第四回下院議員には共にトムスキー縣より選出せられたり第四議會の副議長たりしが國民自由黨に屬す

▲商相　商工大臣アレキサンドル、イワノウイチコノワーロフ氏は稀布製造會社の所有者なり該工場はキネセムイスキー縣ボチナカ村にあり千八百七十五年に生れ中學を卒へて之より英國に往き商工莫斯科支部會員にして中央にては軍事工業委員に屬する勞働會の創立者なり下院議員にはコストロムスキー縣よりの選出にて實に進歩黨の首領たり

▲文相　文部大臣教授アレクサンドル、アポルロノウイチマヌイロフ氏は莫斯科大學前學長なりカッソウ氏の死すると同時にマヌイロフ氏は辭表も提出せざるに免官となり其結果示威的に百六十三人の教授は辭職したるが間もなく貴族院議員に推擧せられたりシャナフスキー國民大學の教授にしてルースカヤウエドモスチ紙の編輯者なり其政治的所屬は國民自由黨に屬せり

▲陸相　陸軍大臣兼海軍大臣なるアレクサンドル、イワノウイチグチコフ氏は活動家として知らる千八百六十二年に生れ莫斯科第二中學を卒業したる時は金メタルの優等生なりき後博物を修め教育研究の目的を以て外國に遊べり終始自由の爲めに戰ひ重要なる戰士なりき志願して勞働者の群に入り西藏に赴けり次いで滿洲に行き小亞細亞に遊びアダンの大殺戮の時は恰も小亞細亞にありたり莫斯科市會議員にして曾ては市會議長をも勤めたり又教育銀行長にして十月十七日中央委員同盟の創立者にして其會長なり下院議員には第三議會の時莫斯科より選出せられ陸海軍委員會議員に推擧せられ中央軍事工業委員會長たり今次の戰爭に當りては赤十字委員長の職をも有せり

▲農相　農務大臣アンドレイ、イワノウイチシンガリョフ氏は千八百六十九年に生れたりウオロネジスキー實業學校を卒業したるは千八百八十六年なり理科醫學校を千八百九十年に卒業し莫斯科大學の醫科を了へたるは千八百九十四年の事なり其後ウオロネジスキー縣會の衛生部長となり自由同盟の會員にしてウオロネジ市にて發行のウオロネジスロウオ紙の編輯者なり下院には第二第三第四議會共に選擧せられたり財政經濟の研究者にして政黨關係をいへば國民自由黨の一員にて副議長をも勤めたり（哈爾賓）

高等委員會新制

高等土地調查委員會新幹事三名の詮衡は既に當局の間に移り近々其の發表を見るべしとの事なるが右任命後同委員會の部屬其他新勅令に準據し定めらるゝ由

陵園墓森林轉管

京畿道管內に於ける李王家陵園墓附近の森林は從來道保護林として守護囑託を置き森林の保護をなし來れるが來年度より此等の森林を李王職に於て管理することゝなりたるを以て右森林の保護を囑託し來れる守護囑託保護囑託看守等八十二名は三十一日附を以て全部解職せられたり

京畿道桑苗植付

京畿道本年度桑苗植付の計畫を聞くに總本數約四百二十萬本、內接木三百萬本實生百二十萬本にして既に當局にては植付の準備怠りなく本月中には特別の計畫を立て各部長事務官其他主任の出張ありて其の植付に着手すべき豫定なりと

府內住民出生率

京城府在住民の出生人員は當局最近の調査に由るに內地人男九百三十七名女八百三十四名合計千七百七十一名にして之を前年に對比すれば百二十八名の增加なり又鮮人男三千百七十四女二千九百七合計六千八十一名にして同じく八百四十三名の增加を示せり此の出生率內地人口六萬七千三十八人に對する百分率二、六強にして朝鮮人口十八萬三千八百六十六人に對する同三、三強の割合を示せりと

小原長官歸期

支那滿洲並に露領亞細亞方面に出張中なりし農商工部長官小原新三氏は浦鹽より海路を執り二日午前六時元山着船の豫定なる旨其の筋に電報あり同地より直行せば二日午後五時十分南大門着汽車にて歸任する筈也

大田理事歸期

入京中の鮮銀理事大田三郎氏は三四日頃出發歸連の筈なりしも事務の都合上總裁歸京後となるべき模樣なり

人事消息

▲宮崎又次郎氏（江原道第二部長）　一日夜入京不知火へ

▲菱丸俊三氏（忠北道事務官）　同上東京旅館へ

▲柳生勘六氏（大連商業會）　一日夜退京

▲佐藤東間氏（慶南高女教諭）　同上

▲萩谷籌夫氏（朝鮮新聞社長）　一日朝退京

▲久保久氏（總督府技師）　三月三十一日夜退京

▲槇野實氏（三菱技師）　二日朝退京の筈

南言北語

廿八日の樞密院會議で請願令制定の件が可決されたが是は庶民が直接　天皇陛下に請願の書を捧呈し得る規定である▲之に就いては歷代の內閣が非常に苦心したもので一度ならず二度までも樞密院に諮られたが▲何時も諸方面から却つて之は人民に請願上奏を促すやうなものであるマア〳〵と云ふ譯で抑へられて今日に至つたのだ▲それが今度愈々成立したのは寺內內閣が此のマア〳〵式を排し進んで之れに贊成した結果であつて▲實に寺內內閣の公明と帝室制度審議會の功勞とを認めねばならぬ▲ソレに當日樞密院で證明の勞を執つたのが審議會委員の一人として同案の起草者たる敬次郎岡野博士で▲其の說明上手は天下一品と言はれ博士に說明されるとイカナ頑毛也も反對し得ぬ程事理明斷を極めるものだ▲それが殊に努力を揮つて同令制定の理由やら沿革やら縷々數萬言を費して說明して除けたので▲政府側も顧問官側も誰一人異言を發するものが無かつたと▲何れ近く公布せらるゝ事であらうが洵に之れ聖代の鮮事階前萬里の嘆を除かせ給ふ聖慮深甚只管感佩し奉るの外なし▲若し之をしてかりにも民權振張など思惟する者があつてはならぬ▲請願令は至仁至慈の大御心なるも其濫用は斷じて愼むべきである

釜山水道規則改正

釜山水道の現在實施しつゝある給水[illegible]則並びに使用料規則の改正を行ふ必要ありとし所協議會の諮に附したる[illegible]者居住も家屋建坪に應じ其料金を制定せんとするものにして主として京城其他の官營に則り土地の事情を酌[illegible]に增額を見るべきも他地方の官營に比すれば敢て高率の料金にあらずと雖も從來の私設、公設共用水栓は無[illegible]と非斗量器との併用を許す事一、將來敷設の必要ある場所に對しては請求を俟たずして工事の施行をなす事[illegible]て水管未栓裝置檢查手數料を材料檢查は一個乃至三個竣工檢查は一圓を徴收する事一、新規專用給水を受く[illegible]專用水栓は九百五十三個公設共用水栓は二千九百十八個（月收[illegible]二十五円）[illegible]私設共用水栓は千五[illegible]

暴風警報

（四月一日午後三時三十分發）　警文　[illegible]

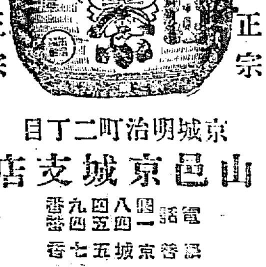
▲技術巧妙　ミカド自轉車店、　京城南大門通四丁目（電話一二二七番）

京城高等普通學校教諭阪上綱吉先生著　朝鮮諸官廳受驗必讀　法律講義　[illegible]　賣捌所　京城大平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

文藝倶樂部　四月定期增刊號　定價八十二錢
雲の戀五人女（寄稿）……平三郎
△虎鍋を喰ふの記……遠藤蘆木
△心中奇談……長田幹彥
△その昔與都の田憶……人
△草双紙大亂痴氣……子
命の火（一篇）……山本柳葉
師匠の戀（小說）……卯木安作
小說　祇園情話　夢まくら……長田幹彥
湯屋の二階（小說）……岡本綺堂
錦繪……田村俊子
血達磨（新講談）……田邊南龍
相生心中（講談）……川口松太郎
△演藝當座帳……
△帝劇と明治座……中內蝶二
△道頓堀中座……瀬戸內太郎
△歌舞伎と新富……議南路橘人
お靜禮三（芝居見たまゝ）……鈴木春浦
東京　博文館　本町

帝國食料品博覽會一等賞金牌受領
滋養豐富　消毒完全　登録商標　玄米精乳
總督府御用　主効　脚氣豫防、母乳代用、腦神經衰弱、産前産後、胃腸病等。安全滋養飲料
定價一合參錢（朝夕配達）（模造品あり御注意を乞ふ）
專賣店京城北米倉町電話一五四七番　東京化學研究所代理店　玄米精乳舍

學生諸君　試驗成績優美　[illegible]

比較は最良の撰擇法なり!!　サクラ正宗　サクラ正宗

山邑京城支店　京城明治町二丁目　電話四一八番　四五四番　九四番　振替京城五七番

イツキ內科病院　龍山元町一丁目中央　電話二五八番　入院隨意　醫學士　齋　勇

を論議し得れる爲め種々な議論あるも共に徵稅上公平を缺く非難の傾あるを以て大正六年度より現在の給水規く爲めに人數の割用栓使用者は割合上不便の點あるを以て今回改正せんとするの要點は專用、共用共に使用を見るべく現在共用栓使用者は從來一戸料金四十錢を六十錢に公設共同栓使用者は一戸料金二十錢を三十錢とすることに規定すべしと云ふが今回改正の要點を揚ぐれば一、私設共用にメートルを附する事一、斗量器[illegible]武の際納付せしめしを今度は損料を以て貸付を爲す事一、自己材料を以[illegible]る設備等にして規則實施上に於ける利便少からずと云ふ而して現在既設の[illegible]（釜山）

支那交通部渡日團の入京（中央の制服が王交通部次長）—（四月一日夜南大門驛にて）—

◎日支親善の第一步は 交通聯絡の完全に在り

久濶に日本を訪ふ感慨轉た禁ぜず

支那交通次長兼鐵路督辨　王黻煒氏談

日支交通連絡會議に出席の支那交通部次長兼鐵路督辨王黻煒氏以下二十餘名の部員は一日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京したるが途中汽車中に迎へたる記者に語つて曰く

今回貴國鐵道院より招待せられ第五回日支交通連絡會議を兼ね其の記念祝賀會に出席し併せて貴國の運輸交通の狀況を視察し能ふ限り各地の觀光を遂げる豫定なり日支親善は

◆久しき以前より　兩國官民の唱ふる處なりしも其の機未だ熟せざりしが從來兩國間に諸多の紛情續起し親善の希望に副はざる事多かりしが貴國の現內閣と我國の現內閣との間に於ける双方の理解は從來未だ曾つて見ざる程度に融和し兩國間の輿論又近來著しく調和を見るに至れり思ふに國家の親善は交通の密接と双方の國民の親交往來に在るを以て兩國親善の第一步は交通連絡の圓滿を圖るに在る事勿論なれば日支兩國

◆親善の第一步は　交通當局より始めざるべからざるを惟ひ此の好期を逸せず我國交通部樞要の諸員を擧げて渡日する事となり此の行、庶くば此の重大なる意義を完し以て兩國親善實行の第一步たらしめん予は曾て東京に遊學し東京には幾多の舊知を有せり殊に日本を代表する櫻花の爛漫なる候に於て因緣淺からざる貴國の首都を訪はんとするに當り感慨禁せざるものあり

▲意義ある結果を來さん

各種の施設は鐵道の完成後に在り

支那交通部參事　權量氏談

運輸交通は單に一國民の文明福祉を增進せしむるのみならず又國際間の和親提攜を圖るに於ても其の交通連絡の疎密は

◆直に其の親疎に　影響する處あり今回第五回日支交通連絡會議の東京にて開催せらるゝに當り我交通部樞要の部員廿餘名渡日する事となれり之れ我が交通部に於て其の前例なきのみならず支那政府としても前例なき事なり且つ此の一行中の多くは曾て日本に遊學し或は數次日本に來往して日本語に精通せり之れ我等の一行が日本の

◆鐵道交通を研究　する上に於て便宜なるのみならず從來支那官憲の海外視察は孰も高齡者に限られたるの觀ありしが此の行は孰れも壯年者のみなるを以て日支兩國間の爲めに意義ある結果を他日に招來するならんと信ず今回滿鐵本線各地を視察し來りしが彼の大連の如き昔時の一漁村は今日堂々たる一大商港となれり之れ實に鐵道交通の賜にして若し大連より鐵道を除去すれば

◆大連は全く昔時　の一漁村に歸るの外なし然り而して鐵道は單に一つの大連の繁榮を招來したるのみならず實に滿洲奧地の農民を殷富ならしめ其文明を增進せしめたる事は大連の繁榮と比例する處なり之れを見ずして我國の新聞紙中或は滿鐵を呼んで侵略會社と識るものあれど之れ遠くより其の表面をのみ觀たるものにして蓋し誤見に過ぎず其の內面に於て此の鐵道が如何に

◆南北滿洲の生民　を殷賑ならしめつゝあるかを知らざるものなり我國の國有鐵道は漸く四千餘哩其の收入金六千萬圓に過ぎず我國の如き廣大なる面積を有する國家に於ては將來各種の施設は鐵道網の完成を俟つて後に施さるべからざるを以て斯くの如き好機を利用し充分貴國の鐵道經營の狀況を觀察せんと考へつゝあり

●十年一日の如く半島の治安に貢献せし 山形大佐

明石將軍の懷刀と呼ばれし人

警務總監部高等警察課長の山形憲兵大佐は今回豫備滿期となり東京代々木の自邸に歸隊されることとなつた、大佐は明治四十年の十一月以來十一年の永い年月を京城に送つた人、其の間昨年頸部に腫物のできた時の他は實に

◘十年一日も　休むことなしに活動した人であつた、尤も大佐は明石將軍の懷刀と呼ばれた程で專ら裏面の畫策に當つた人で曾ては伊藤公時代の暴徒討伐から併合前後の半島の治安に努めた事は非常なものであつた、大佐は少佐時代に明石將軍の副官として渡鮮し暴徒討伐に補助憲兵を用ゐるを建策した事の他

◘各種の大事件　といふ大事件には悉く當面の衝にあたつたのである、頭の白髮は併合の時に一時に增へたと噂される程の當年の苦勞は實に普通一通りではなかつたのである、當時夜半と云はず黎明と云はず引切なしに電話がかゝるので寢る時は枕頭に受話機を置て寢むだが今に習慣となつて居る大佐は福井縣の名門に產れ母堂が現役將校となつて

◘他所へ行く　のを好まぬとあつて一年志願兵となつた人、當時は實に我が國に一年志願兵の出來た最初で同志がたつた七名あつたその後日淸戰爭後から憲兵科に轉じ日露の時は東京憲兵司令部の副官として大活動を試みた人、道回十一年間住みなれた京城をあとに遠く內地に去らるゝのは海に名殘つきせぬ事である、因に南大門出發は十二日、朝の急行

◉咸鏡丸上甲板より投身

土地調査局雇員　調理課長へ遺書

朝鮮郵船咸鏡丸が三十日午前四時出帆の刹那後部左舷上甲板より投身せしものありしを水夫某が發見し早速船長に此の由を報告し停船救助の爲め救命浮標及び綱を投じて救助に努めたるも覺悟の投身と見え救助するを得ず見失ひたるが投身者は咸興中荷里の李燗球（三二）にて現に土地調査局雇にて二十九日夕京城より著元驛前咸鏡旅館に入り同旅館に投宿中なりし同鄉の醫學生金鶴錫（二九）同李培式（三二）と共に乘船せしものにて自殺の原因は精神に異狀を來せしものなるべく彼等三人は西湖津迄の切符を買ひ求め同行乘船せしものなり所持品中には十三圓餘の金子と書留五通あり內一通は開封の儘にて自分は止むを得ざる事情の爲め心中の苦痛遂に斯くの如くなるものなりと云ふ意味を簡單に認めあり尙金十圓を實家に送り呉れと書き加へありたり殘四通は實家に二通咸北慶源に在る調査班內某宛一通尙一通は土地調査局調理課長宛のものありたるのみにして其他には別に死因に關係あるらしきもののなかりし由（元山）

◉棧橋荒しの賊

廿八日午後七時釜山棧橋著列車より下車し同八時三十分出港の連絡船に乘船すべく手荷物を赤帽に託したる愛知縣愛知郡當磐村字鎌原鬼頭貢太郎及び平北雲山郡北鎭に來りし實業武末太郎の家族が手荷物信玄袋二個紛失したるが鬼頭は該荷物取調の爲め下船し其旨第一棧橋派出所へ屆出でたるに由り同所詰合巡査は直ちに搜索せしに釜山驛前の松本旅館に舉動不審の男が信玄袋二個を携へ投宿せしありと探知し同旅館に至り詮議したりしに被害品を發見したるも犯人の行衞不明なりしを以て歸宿を待受け居りし所廿九日早朝犯人は何喰はぬ顏して歸宿したるを捕へ取調べしに犯人は原籍大分縣大野郡三重町六百九十二番地住所不定廣瀨浪雄（三三）と云ふ窃盜前科二犯あり一週間前釜山監獄を出獄したる前者にて入獄中懇意となりし賭博犯人某の所に數日前より起臥し同夜は棧橋に來り赤帽の預り居る該信玄袋二個を窃取し擔軍に擔はせ松本旅館に至り鬼頭の被害品中より高貴織の著物及び羽織を取出し著衣を鐵へ國武の被害品中より銘仙女羽織を風呂敷包となして立出で途中にて前記の賭博犯者に託して賣却せしめたる行衞不明なるも猶餘罪ある見込にて嚴重取調中なりと（釜山）

◉申譯けに自殺

咸南定平郡廣德面儒興里苗種女は十三年前より胃疾にて苦み居たるが平昌奕は諸病を治療して効果ありきと聞き三月十一日同人の治療を乞ひ服藥したるに其夜より病氣益々募り苦悶の後死亡したり然るに親類知己は昌奕が殺したるなりと立ち騷ぎ同人を取り卷き苗種女を生かして戾せと迫りたるより昌奕は十二日申譯けに切腹して死せんと銳利なる刃物にて下腹部を五寸餘切り深さ內臟に達せしも死に切れず急報に接し定平より憲兵出張して早速應急手當を爲し漸やく一命を取り止めたるが夫れが爲め昌奕は發狂し人を見れば自分を殺しに來るものゝ如く恐れて荒れ狂ひ居れり

◆高麗丸と交通團

三十日長崎より出渠したる連絡船高麗丸は支那交通部渡日團一行隨員共約四十名を搭乘の爲め臨時に來る三日朝釜山に入港し午後八時半發にて前記渡日團を搭乘せしめ其の他一般旅客の搭乘を禁じて下の關に向ふ筈にて同渡日團の北京に歸國の際は高麗丸を神戶に差向け同地より搭乘せしめて十八日出帆し瀨戶內海の勝地を遊覽して二十日午後八時半釜山に入港の事に決せりと

◉仲居馬に蹴らる

一時人事不省に陷る

一日午後六時半頃京城新町遊廓大壽樓の仲居ちよ原しげ（二二）が同家前を通行中折柄三角町居住泰願卜（三〇）が騎馬にて疾走し來れる際誤つてしげは馬に蹴倒され大地に倒れて頭部を強打し人事不省に陷りたる騷ぎに本町署新町派出所の警官驅付取調べの上しげを直ちに新町病院に擔ぎ込み目下加療中

◉暖な日曜の賑

四月といふ聲にそゝられたものか一日の日曜は朝から市中と言はず郊外と言はず夥しい人出があつた、各學校の學年末休みのためといよ〳〵學校へ上る子供達が自由に遊ぶのも此の日限りといふところからお母さんやお父樣を誘ひ出して動物園見物山登りなどに出掛けるのが多く今年に入つて始めての賑かさだつた

◉變裝警官山中に博徒を包圍す

一組は阿峴里の山巓にて一組は漢陽公園の山中にて

高陽郡龍江面阿峴里と京城蓬萊町四丁目の境界なる峻峭なる山巓にて鮮人の一團賭博をなし居るものあるを本町警察署にて探知し本月一日署員約十名變裝して該山巓に襲擊し數名の鮮人が車座になりて開帳中を一齊に包圍して五名を取押へたり又同日漢陽公園の上方山中にて開帳中別の一組を發見し之をも包圍したる結果二名を取押へ何れも留置して目下取調べ中

◉狂犬四名を咬む

京城南米倉町大黑湯附近にて一日午前中內地人一名鮮人三名を咬傷したる一頭の犬あるを本町署の警官等が追跡して取押へ獸醫診斷の結果狂犬と判明して被害者には取敢へず應急手當を加へ件の犬は即時撲殺せり

◉泥醉して重傷

京城左官職同業者は一日漢陽公園にて春季運動會を開催し運動後宴會を催ほして退散したるが櫻井町二丁目居住左官和榮吉は午後五時頃泥醉して旭町降口の路傍より墜落し岩石にて前額部其他數箇所に重輕傷を負ひたる騷ぎに本町署より警官出張同人を鶴田醫院に擔ぎ込み應急手當を加へしが生命には異狀なかるべしと

◉甲斐警視夫人の訃

警務總監部保安課勤務甲斐警視夫人は操て病氣中三十一日死去四月二日妙心寺にて葬送すべしと

第九回新學期開講

日本大學法制學會編　普通文官養成講義錄

講師　中村法學博士　青木法學博士　板倉法學博士　其他斯界第一流の學者　清水法學博士　小林法學博士　柳川控訴院部長　副島法學博士　横田法學博士　山岡司法參事官　十餘氏

立身の捷徑は「普通文官となるに在り全國無數の普通文官の席は年々空席を生じ待つ一日も早く就職せよ獨立せんとする人は社會に活用せらるゝ資格を得んとする人より一躍高級の官吏とならんとする人は速に本講義錄は斯界一流の學者により平易懇切に試驗及第を唯一の眼目として編纂せられ年々多數の合格者を出しつゝあり」

名譽顧問　正三位尾崎行雄
會長　貴族院議員法學博士石渡敏一

入會の最好機來れり　◎入會金廢止◎本業一個年◎會則無代進呈◎入會者には特典あり　日本大學法制學會出版部　會員募集

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正六年四月號（定價金參拾五錢）

主要目次

口繪

□歐洲戰亂の朝鮮貿易に及ぼさる影響 …… 鹿野度支部長官
□地力の保存と作物及勞力の分配 …… 中村農林府技師
□朝鮮の特有產たる畜牛の奬勵及之が利用工業 …… 宇野中央試驗所技師
□歐米視察談 …… 矢野稅關長
□山林警察私見 …… 隱部警務部長

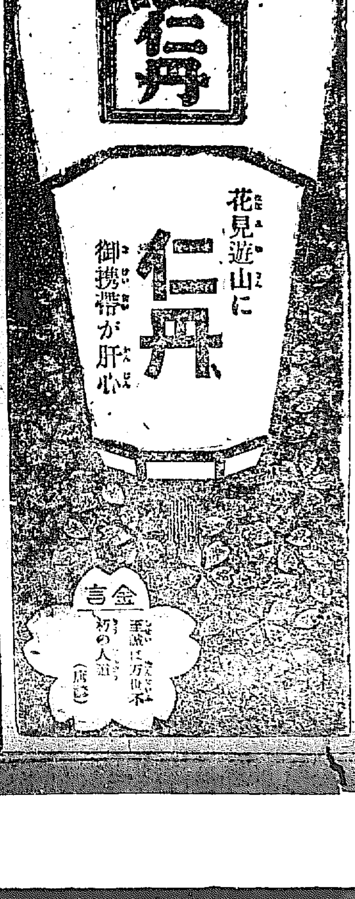
道路改修工事竣功の資料　灣江河岸造林地生育の狀況　全南麗水郡曉海大朝鮮農牛價格　黃海道載寧鐵山採鑛の狀況　平北龍川郡牛調浦入江開門通水試驗

行政　東拓移住規則の改正◎大正四年度臨時恩賜金地方費決算◎慶南行政區域名稱一覽表
財政及金融　大阪對朝鮮貿易◎二月中朝鮮貿易◎一月中經濟概況
產業　大正五年麥實收高◎大小麥優良品種普及の狀況並栽培成績◎金肥生產額及消費額◎漢江河岸造林地生育狀況◎朝鮮林野主要副產物◎テウセンカラマツの播種と季節
交通及土木　仁川築港工事現況◎二月に於ける鐵道貨物狀況◎電氣事業經營及會社設立許可◎二月中鐵道運輸
司法及警察　痘瘡及種痘の狀況◎戰亂の醫藥品に及ぼしたる影響

□複式教授の實際 …… 京城府公立普通學校附屬普通學校
□鳳凰山浮石寺の保存工事に際して現はれたる古記錄の歷史的價値（承前） …… 渡邊彰
□山人蔘採取狀況 …… 小泉總督府技師

◎外國事情◎地方通信◎雜報◎敍任及辭令
□學校組合一覽（大正五年四月一日現在）
◎統計◎法令及通牒◎判決例

▲投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
▲販賣店　朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店



怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百二十四　奧の奧の手『廿四』の一

松崎は、自分の脱ぎ捨てた外套を翻せて、燃え上つた障子の熖を消し止めやうと操つたが、もう遲かつた。折柄の烈風は、時を得顔に紅の翼を煽つて、火先はちよろ／＼と簀張の天井を這ひわたつた。あれ／＼と叫ぶ間に、一方の火の手は、濃々たる黑煙を噴きつゝ、乾びきつた板塀から屋根裏の横木を舐め始めた。

半は喪心者の如く、半は狂亂者の如き網代は、初めて洋燈の轉覆したのを見て、にた／＼と笑つた。ぱつと火柱の丈よりも高く燃え昇つたのを見て、掌を拍たぬばかりにほゝと笑つた。松崎が眼の色を變へて、慌てふためく有樣を見て、左も好い心持さうに滿面春風の如き微笑を湛はせながら、階子段をみし／＼と降りたが、勿論何處へ逃げやうと云ふ目的もなければ、思慮も起す事なしに、ふら／＼と格子戸を開けて、女髮結の家を出て了つた。

『火事だ／＼。』と云ふ消魂しい喚きの聲は、四方八方から湧き起つた。炎々と立ち昇る猛火の紅と、風に渦巻く黑煙の波とは、既に三軒建の二階長屋を半分以上押包んで、界近は忽ち阿鼻叫喚の巷と變じた。ぢやん／＼と鳴る警鐘の響、馳せ違ふ消防夫の掛聲、逃げ迷ふ女小供の泣き叫ぶ慘狀、警官の嘩り、彌次馬の動搖めき、公園の六區と吉原の繁昌地とを左右に控へた中間の場所柄丈に、その混雜と騷々しさとは、實に名狀す可らざるものであつた。

『待てッ！待てと云ふに待たんか？手前は火事場稼ぎに違ひなからう。』

火事場から四五丁を隔てた小さい石橋の手前で、突然雜踏の中から角袖に引捉へられた一個の男があつた。帽も外套も勿論身に着けては居らない。狼狽の餘りでもあらうが、赤い染模樣の付いた女の帶揚を譯もなく手首に卷き付けて居たのが、敏くも刑眼なる角袖の注意を惹いたのである。剩さへ、男の眼の中には著るしく血走つて、衣服の袖袂には、所々猛火に焦されたやうな燒穴が見られた。

『火事場稼ぎでなければ、手前が放火犯人に違ひない。』

角袖は、一目男のきよと／＼しい擧動を睨んで、頭ごなし衣服の襟首を引摑んだのである。

『いゝえ、決して怪しい者ぢや御座いません。』と、男は、眼を擦り／＼辯疏を爲て居る。

『怪しくない事はない。本職がちやんと見て取つたんぢや。第一貴樣の風俗は、此の邊に住んどる人間でない事が分つとるんぢや。一躰何者なんぢや。』

『はい……私はその麴町の……。』と、男は、此處まで言ひかけたが、實は、その先を言ふのに、餘程躊躇して居た。

『早く言はんか「麴町は何處ぢや？」』

『……はい、麴町の五番町に居りますんで……。』

『姓名は何んと云ふのか？』

『白富總十郎と申しますんで……。』

『間違ひはないの。兎も角本署まで來い。』

黑山のやうな人を押分けて、角袖は、男を象潟の警察へ引張つて行つたのである。

火事は、烈風の割合に消防の手が早く廻はつたので、一時は何れ程の大火に成り行くかと案じられたのが、僅か貧民窟に等しい横町の五六棟を灰に化せしめた丈で、一時間餘りの後、冴ひわたる消の半鐘の音と共に忘れたやうに鎭つたのである。

水氣を含んだ白い煙が、おぼろ夜の霧の如くにその邊りを蔽つて、茜をぼかしたやうな餘炎の光が、ほのかに空の一部分を彩つて居るのみであつた。

『まあ、美しい空だわね。ほゝほゝ、彼の美しい紅い雲の中に、乾度……妾の大切な倉橋の阿兄さんが眠つてらつしやるに違ひないんだわ。もし、阿兄さん……倉橋の阿兄さん、貴郎は隨分殘酷な方だわね。妾……是ほどの苦心經難を爲て居るのに、貴郎は其處から……その美しい雲の中から、默つて見てらツしやるんでせう。そりや阿兄さん、殘酷と云ふもんぢやなくて……。』

醉んだ太郎稻荷の木立を脊後に、新白き田の畔に腰を卸して、うつゝなげに眼を瞬いた儘、火事の餘炎の茜輝やく空を仰いで、獨りこんな事を呟いで居る女は、誰あらう、我が哀れなる網代であつた。

●鹽魚貯藏試驗　群山にてゼラチンの製造

山麓に貯藏所を設置すべく數日間に亙り調査中なりしが調査設計等を終[illegible]

本年は群山及び元山の二箇所に試驗[illegible]分の結果を得られざりしものの如く豫定にて當群山の貯藏魚類としては石首魚を重なるものとし[illegible]魚其他[illegible]

原料を含有するも石首魚就中籠むで[illegible]

鰭にて總ての魚族に多少のゼラチンの値は魚價の約七割則ち魚價一尾一[illegible]

錢とせば一尾より約七厘の廢物を利[illegible]

伴ひ年々漁獲高を増さんとしつゝある有望なる漁場を控へたる群山港と[illegible]

●警官を誣告す

平南大同郡[illegible]出張[illegible]暴行せる三人を引致し取調の[illegible]

秋乙美面寺洞平壤鑛業所職工頭[illegible]保大(三)所助手[illegible]由龍太郎(二)同[illegible]

末愁々と說諭を加へ放遣せり然るに三名は爾來警官の處分に不平を鳴らし同[illegible]

□韃靼の露人　大連に來る

二十八日午後七時大連驛着の列車でメーエル、ベロウースと云ふ男とガルジキイルザー、キャズーモフ、オルグイ、キャズーモフと云ふ妙に名前の長い男とが來連し共に日本橋ホテルに投宿したが二人共五十五歳の韃靼人で哈爾賓の商人である、旅行の目的は青島及び上海方面への商用で三十日正午出帆の榊丸で出發するそうであるが彼等を捉へ今度の

△露西亞の革命 はドウだと顏色を覗へばさも心地好げに聲に力を入れて萬歳だと叫ぶ、而して露都革命の報が哈爾賓に達するや市民は狂喜して革命の成功を祝し親獨派の大官連は蟄伏して終つた、現に東淸鐵道の民政長官アファナーシェフは市民に退官を强要せられて哀れな蟄居生活を營み警察署長は罷免され檢事總長は危險を懼れて長春に逃亡し哈爾賓市は眞に愉快なる自由の天地に化したと北叟笑んで喜んで居る、ホテルの帳場や女中などは一人は露西亞人の樣だが他の一人は印度人に獨逸種を交へた化物の樣だとキョトキョトして居る

△女子は絶對服從 韃靼人は全市回教徒で宗教上の信仰鐵石よりも堅く馬肉は喰ふが牛豚肉は決して喰はぬ習慣である殊に其民族は一夫多妻主義で女は男に對して絶對服從の義務があるので食卓の如きも男兒は父と共にすることを得るも母や女兒は絶對に禁ぜられ食器は決して他人に使用させぬ習慣ださうである元來露國政府は韃靼人に對しては猶太人に對するが如き殘忍酷薄な壓迫を加へなかつたが彼等韃靼人が今回の革命を喜んで新政府を謳歌するのを見れば數百年來深く頭腦に刻まれた復讐的快感を味つたのであらう（大連）

□獨帝廢立の運動

獨逸の革命說が傳はつてからは大ぶんになるが其後何の音沙汰も無い處を見るとどうやら食料暴動を誤傳へたものらしい併し食料暴動と社會黨が若し喰つ付いたら或は眞の革命にならぬとも知れぬ共和主義の理想は獨逸にも根を卸して居る筈であるから若し之れがものにならぬとしても獨逸に危險が伏在して居るそれはホーヘンツオルレルン家を廢して巴威ウイッテルスバッハ家を立てゝ獨逸の皇室とせよといふ運動である『巴威と平和』と題する此の意味の秘密出版が普魯西官憲に氣附かれて早速沒收になつたが英米新聞には其抄譯がチヤンと載つて居る此反普魯西の感情は獨逸全體に磅礴して居るそうだから獨帝は前門に狼後門に虎を控へて居るやうなもの戰爭は面白く無し神經衰弱の起るのは無理もない

新刊紹介

△諧談俱樂部（四月號）須藤南翠氏の『生的一覽』を筆頭として稻岡奴之助氏『お押さん』金井紫水氏『秩父おまさ』半井桃水氏『日向笑』入河內整山氏『お半長右衛門』本多嘯月氏『春の流』[illegible]氏『夜嵐』等の新作に次で佐藤紅綠氏『千島ヶ[illegible]』[illegible]氏『みなし兒』渡邊霞亭氏『色懺悔』等の諸大家苦心の作數篇を登載し、新小說新講談落語浪花節一々收錄の遑なし。倘面白き入選寳の募集あり。（二十八錢東京市本鄕區駒込坂下町四八共社）

△朝鮮農會報（三月號）朝鮮の業務名及其原料植物名調査報告（石戶谷勉）樹栽培法（野木[illegible]）遺傳學の農藝に及ぼす影響（[illegible]）等の學事及就判法令農界時事論說等の外朝鮮農業經營者必讀の好讀物及參考資料を載む（二十錢京城府[illegible]）

△第三帝國（三月號）婦人雜誌女王を合併し內容の色彩を一新せり憲法政治の三大特質（浮田博士）言論迫害の歷史（久津見蕨村）大隈と寺內閣（[illegible]）[illegible]等の時論なかめり[illegible]の人道主義は何處に徹底すべきか（[illegible]）自由戀愛に就て（[illegible]）エレンケーの世界主義と國家主義共作を收む（二十錢東京市牛込區[illegible]）

△電氣世界（三月號）水力發電前甲斐[illegible]法（中原博士）加里工業[illegible]（[illegible]）電線の簡易計算法（丸工學士）帝の學說電球特許係爭問題、電氣事業月報等の雜錄其他依例電氣界に於ける重要なる記事を滿載せり（二十錢[illegible]大正[illegible]社）

京日案內

普通五十錢（一回前金）番外一圓（一回前金）（但し[illegible]）

●看護婦及見習看護婦數名入用　志望者は本人來院の事　仁川　佐[illegible]病院 780

▼看護婦至急入用　希望者面談　長谷川町四七　シメノッチ齒科醫院 782

▼店員一名至急入用　確實なる保證人を要す　京城旭町一　川[illegible]食料品店 783

●店員入用　但十七歳より二十歳迄の男三名市內保證人要す本人來談　本町一　津村兄弟商會　電一四八〇 778

⊕電話讓り渡したし　希望の方は電話八八五番へ 770

●京城第一の家のいなりずし　旭町一日の出湯トナリ　一の家 777

▼各學校用古教科書と參考書買入　電二五二七　本町　[illegible] 745

●店員入用　十四歳より十八歳迄の者五名但保證人を要す　京城吉野町　[illegible] 772

●看護[illegible]　持參本人來談あれ但電話相談に應ず　會謝絕　明治町二丁目　[illegible]病院 772

有給外勤社員募集　希望者は履歷書送附あれ採用通知す　明治生命保險株式會社　京城代理店　本町二　山口呉服店 771

店員入用　十三四歳より十六歳迄の者　五名鮮人健全市內に保證人を要す　履歷書携帶來談あれ　電三九五　[illegible] 784

●藥學生募集　四月五日新學期開始希望者は黃金町三丁目藥店梅崎政雄方へ申込あれ　[illegible]藥學講習所 774

紀念植樹　アカシヤ、楓、其他各種苗、安價販賣仕候　電一四五番　京城植物園 773

◎礦物定量分析　太平町二丁目　朝鮮公論社　左横小路　電話長三四四　三五　坂元分析所 76[illegible]

◎印刷用附屬品一切　◎印刷用インキ製造　初田活版製造所　京城太平通一丁目　電話一四〇九番　振替京城四一六三番

強胃消化錠

＝本劑の特色＝

二博士確證の本マーゲンは至誠實驗の結果、胃病に效く事根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃弱を治し著しく胃を爽快にす

大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥　規那鐵葡萄酒　肝油ドロップス　御化粧品　發賣元　丸見屋商店　東京市日本橋區馬喰町四丁目　藥劑、藥品、石鹸、香粧品、小間物問屋　電話浪花四四八〇、四四九〇、四五〇〇番　電信略號〇ミヤ　振替東京七一〇〇番

新案特許　ミツワ水枕　大阪　宗田商店謹製　定價　大形金[illegible]　中形金[illegible]　小形八十五錢　特製金[illegible]

凡ての家庭には必ず一個の水枕を備へざる可らず

子供に熱の出た時などには水枕が最も必要[illegible]で破れた時など水枕なすれば必ず元氣回復します＝其水枕の中でも特に完全な水枕は◎ミツワ水枕でありますミツワ水枕は枕の内に隔壁を設け中へ氷水を入ると自然に凹字形になるやうに製しております左右に揺れたりチャブチャブしたりすることなく、其れに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。稍も又、多年苦心の結果漸く案出したる極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも御婦人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。

◎ミツワ水枕

◎ミツワ椿油

椿の實を特に內地に取寄せて、皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる、新鮮純良にして、毛髮の衞生に適し、色艶を麗しくする……

ミツワ椿油は製造法を改良して、冷壓法で强力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良な椿油で、亦素ミツワ椿油を使つてゐると『理想的滲透性不乾性油』と云つて毛髮に滲込む力が强いから、毛髮の發育を助け且つ色黑く髮を麗はしくし、毛髮と空氣と接觸ることが少く、從つて髮に接觸る結果、濡れた髮を除き、毛髮の黑い色素が段々に濃くなり、赤毛や白毛に早く成り易い髮を防ぎ、また臭氣を發する等のこと も無く何時も艶々しい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである。

定價　小瓶入[illegible]　大瓶入[illegible]

最新刊

△山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

書名	著者	定價
●死の毒に	[illegible]	一、八〇
●磁氣と物質	本多光太郎	一、八〇
●債權者の法律顧問	石[illegible]	一、八〇
●朝鮮の金鑛	町田[illegible]	一、〇〇
◎大正六年最近朝鮮事情要覽	[illegible]	六五
●英語活用自在	森本[illegible]	二、五〇
●資金難學	[illegible]	一、〇〇
●啓發錄	加藤[illegible]	一、〇〇
●模範作文講話	大町[illegible]	一、三〇
●最新植物生理學提要	[illegible]	一、五〇
●漢字の讀み方と正しき用字法	久保天隨	六五
●富の礎	[illegible]	一、〇〇
●洋樂の話	[illegible]	一、〇〇
●實務の人	[illegible]	一、〇〇
●江戶一代女	[illegible]	四〇
●大正新編ペン習字一覽	[illegible]	三〇
●ベン商業用式習字帖	[illegible]	七五
●同朝鮮行政法大意	[illegible]	七五
●ペン數字練習帖	[illegible]	各四〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目電話一六八番　振替京城二五七三番

りん病　ばいい毒　（新藥）

梅毒　普通金壹圓二十錢　特製金貳圓　淋病　普通金壹圓　特製金貳圓五拾錢

本藥は[illegible]副作用なく急性慢性症状に[illegible]

京城永樂町二丁目交番北　ドラッグ商會本部

泉醋泉間自動車時間

金泉織居自動車支部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行　相模丸　四月廿一日正午出帆　三河丸　四月廿[illegible]日正午出帆　三砂丸　三月卅一日正午出帆

仁川港町[illegible]　電話[illegible]　堀回漕部

尾崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行　大吉丸　四月二日午後四時出帆　秀吉丸　四月六日午後四時出帆　君が代丸　四月[illegible]日午後四時出帆　神代丸　四月[illegible]日午後四時出帆

仁川海岸通[illegible]　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　和歌浦丸　四月四日午後五時出帆　辛丑丸　四月[illegible]日午後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　和歌浦丸　四月三日午後十時出帆
○立神丸　四月[illegible]日午後四時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　四月[illegible]日午後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　四月[illegible]日午後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天與丸　毎月二日九日十六日廿三日（[illegible]）午後十時出帆

釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番二三二番　各支店出張所代理店及取扱店に御照會有之度

○京城　江原丸　四月十二日　釜山發
○黃海丸　四月十五日
○咸鏡丸　四月十日
○門司より釜山各港寄港經由航路　城津丸　四月[illegible]日　元山發
○元山より各港經由琺琅行　昌平丸　四月[illegible]日　元山發
○鎭城丸　四月[illegible]日
○釜山元山寄港長崎行　平安丸　四月[illegible]日　元山發
○江陵丸　毎日　釜山發
○襄陽丸　四月[illegible]日　浦項發
○長生浦方魚津寄港　三浦丸　四月[illegible]日　釜山發
○長承浦、統營、巨文島、濟州島各寄港　海州丸　毎日　釜山發
○各港經由濟州島行　統營丸　四月[illegible]日　○巨濟丸　○慶寶丸
○城津清津雄基行　平壤丸　四月[illegible]日　元山發
○忠清丸　四月六日
○順天丸　三日目毎に木浦發
○慶興丸　四月[illegible]日　木浦發
○公州丸　四月[illegible]日　木浦發
○江原丸　三月[illegible]日　仁川發
○麗水丸　四月二日　仁川發
○晋州丸　四月[illegible]日
○宗信丸　四月二日　仁川發
○全南丸　○光陽丸　毎日午前　仁川發

京城南大門通　松原運送店　電話長一七〇番

大阪商船仁川出帆

○外航路　○京城[illegible]　○大連直航
○群山、木浦、釜山、關門、神戶行　天智丸　四月九日正午出帆
×大連直航　四月九日
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　信濃川　四月[illegible]日正午出帆
○群山、木浦、神戶、大阪行　天智丸　[illegible]月[illegible]日後五時出帆
○大連航　遼州丸　四月[illegible]日
○木浦、釜山、嚴原、伊の浦、長崎行　安東丸　五月十[illegible]日後二時出帆
○群山、釜山、横濱行　福州丸　四月十五日
○鎭南浦、大連行　安東丸　四月廿七日後二時出帆
○印度洋（鎭南浦[illegible]）　安平丸　四月十[illegible]日後十二時出帆
▲宮島丸　四月十一日
○上海（基隆、打狗行）　香港丸　四月十五日前六時出帆　基隆丸　五月二日後四時出帆

仁川代理店　野口商會　本町四丁目（電話一七三番）
元山代理店　[illegible]回漕部
京城取次店　河村運送店

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　伏見丸　四月[illegible]日午後入港　日正午出帆

朝鮮郵船會社仁川支店　電話二〇番　京城支店　電話七〇八番